

# 目 次

青 少 年 と 共 に (座間市青少年指導員協議会々長) .....	1
青少年指導員活動のあゆみによせて (座間市長) .....	2
座 間 市 の 概 要 .....	3
児 童 生 徒 数 の 推 移 .....	4
青 少 年 指 導 員 の あ ゆ み .....	5
青 少 年 指 導 員 の 役 割 .....	6
平 成 3 0 年 度 事 業 報 告 .....	7
令 和 元 年 度 事 業 報 告 .....	14

## 各地区協議会活動報告

座 間 中 学 校 区 .....	22
西 中 学 校 区 .....	25
東 中 学 校 区 .....	29
栗 原 中 学 校 区 .....	32
相 模 中 学 校 区 .....	35
南 中 学 校 区 .....	38

## 全 体 活 動 報 告

ふ る さ と ま つ り .....	42
座 間 市 成 人 式 .....	42
青 少 年 芸 術 祭 .....	43
専 門 部 活 動 .....	44

## 参 考 資 料

平成30・令和元年度座間市青少年指導員名簿 .....	49
神奈川県青少年指導員委嘱要領 .....	50
座間市青少年指導員に関する規則 .....	51
座間市青少年指導員協議会規約 .....	52
座間市青少年指導員協議会組織図 .....	54
県・県央地域青少年指導員連絡協議会体系図 .....	55
教育・文化・スポーツ施設一覧 .....	56
あ と が き .....	58



## 青少年と共に



座間市青少年指導員協議会  
会長 萩原 正恵

第26期青少年指導員活動も終わろうとしています。活動のあゆみの原稿も3回目となります。あ～という間の6年間でした。任期の終わりに、全指導員のリーダーになれたかと自問自答をしますが、楽しく活動出来た事が何よりもの結果だと自己満足しています。

活動中での野外研修では、新消防庁舎の見学をしました。40mのはしご体験では、市内はもちろん、素晴らしいパノラマを見せて頂きました。普通救命講習を受講し、緊張しながらも効果測定を受け、修了証を頂きました。最高の喜びでした。学んだ事は、役立てていきたいと思えます。

文化部研修では、教育研究所の方を講師としてお迎えし、「もう一度、座間市を知ろう」という事で、話をさせて頂きました。市内中学校の成り立ちについて、を聞きました。現在、17小中学校がありますが、学校が出来るまでには、色々な歴史があったようです。

視察研修では、「神奈川県総合防災センター」にて、震度7の地震や強風、煙を体験し、災害の恐ろしさを認識しました。そして、「花菜ガーデン」では、香り入りの石けん作りをしました。色々な形に作り上げていましたが、思わず笑ってしまう物もありました。昼食に食べた漁師定食の美味しかった事。JA直売店での買い物もやはり主婦でしたね。

大和市との合同研修も続いています。座間市からは、「青少年の発するサインに対する気づきと対象理解の大切さについて」講演し、思春期の子ども達の心の変化を痛感しました。大和市からは、バルーンアート講習です。だいぶ上級者になってきました。ゆるキャラのざまりんは、大人気で、イベントではなくてはならないものになりました。これからも合同研修は続けていきたいですね。

一年間を通じ、多くのイベントがありました。青少年フェスティバル、青少年芸術祭美術展、ふるさとまつり、成人式、地域パトロール、各学校区内の施設への協力等頑張りました。そして、お疲れ様でした。私達青少年指導員は、様々な方の協力があってこそ成し遂げられるものであり、出会いやふれあう事の大切さを改めて実感しました。今後も笑顔で楽しく頑張っていきたいと思えます。

最後に、2年間にわたり、御支援と御指導を賜りました座間市及び教育委員会、交流させて頂いた全ての方々に厚くお礼申し上げます。誠にありがとうございました。

## 「座間市青少年指導員活動のあゆみ」によせて



座間市長 遠藤 三紀夫

第26期の青少年指導員皆様の2年間の御活動に対し、感謝とお礼を申し上げます。

また、皆様方には青少年に対し、多様な体験活動、地域間交流、各青少年団体の育成及び支援、地域環境健全化、青少年健全育成団体間の交流促進など、多岐に渡り御活躍頂きましたことを心より厚くお礼申し上げます。

さて、近年では、急速な情報化社会の進展等により、スマートフォンやタブレットといった機器の進歩によって、生活は大変便利になりました。

しかし、その一方で、青少年を取り巻く環境は著しく変化しており、ネットトラブルなど、青少年が巻き込まれる事件が増えてきていることも事実です。人と人との関わりが減り、顔の见えない相手と文字でやり取りすることが、今や当たり前の時代となってしまいました。また、多すぎる情報は、時に人の判断を狂わせてしまうこともあるでしょう。インターネット等で得た情報だけではなく、自分の足で赴き、自分の眼で見て、耳で聞いて、何かを感じ、自ら判断する力を養うことが青少年にとって大切なことなのではないでしょうか。

こうした中で、座間市青少年指導員の皆様には、青少年が笑顔溢れるようにと積極的に子どもたちとふれあって頂きました。

今後においても、様々な活動を通じて、人と「ふれあうこと」の大切さを伝えて頂き、次代を担う子どもたちにとって、明るい社会を構築する一助となって頂けたら幸いに存じます。

萩原会長をはじめ会員の皆様に、心より感謝の意を表し、厚くお礼申し上げますとともに、座間市青少年指導員協議会の更なる御活躍・御発展を祈念申し上げます。

# 座間市の概要

## 1. 沿革

本市は、1万数千年前から人々が居住していたと言われています。

奈良時代には、旧東海道の駅名として「相模国夷参駅」の記録があり、平安時代に入ると、倭名類聚鈔の高座郡の郷名に「伊参」の記録があります。

その後、戦国時代には、小田原北条氏の所領となり、江戸時代には幕府直轄や大名領となりました。

明治時代に入ると、廃藩置県により神奈川県に属し、明治6年には、座間宿村、座間入谷村、栗原村、新田宿村、四ッ谷村の5村となり、明治22年町村制実施により5村と新戸村（現相模原市）飛地を合併して「座間村」を形成しました。その頃は、米麦、養蚕を中心とした農村社会でした。

大正15年神中線（現相模鉄道）、昭和2年小田急小田原線、昭和6年相模鉄道（現JR相模線）が開通しました。昭和12年、東京から陸軍士官学校が移転、同年12月町村制を施行し、座間村から座間町となりました。

昭和16年、旧高座郡北部5カ町村と合併して軍都相模原町を形成しました。昭和20年、終戦と同時に陸軍士官学校は閉鎖され、引き続き米軍が駐留し、現在のキャンプ座間となりました。昭和23年9月、相模原町から独立し、新生座間町として出発しました。

その後、昭和30年工場誘致による民間企業の進出や人口急増など、高度経済成長とともに都市化が進み、昭和44年には人口5万人に達し、昭和46年11月、県下17番目の市として市制を施行しました。以来、首都圏のベッドタウンとして成長し、現在では、工業や住宅などの複合都市となっています。

## 2. 地勢

本市は、東京から南西へ40Kmで、神奈川県の中東部に位置しています。市域面積は、17.57Km<sup>2</sup>、中央部を南北に縦断する座間丘陵を境として東部には相模台地、西部には相模川に沿って沖積低地が広がり、起伏に富んだ地勢を構成しています。

(位置：東経 139° 24' 38" 北緯 35° 29' 07")



市のシンボルマーク



市の花  
《ヒマワリ》



市の木  
《モクセイ》



市の鳥  
《シジュウカラ》

## 児童生徒数の推移

### 1. 児童生徒数の推移（各年5月1日現在 学校教育課調べ）

#### (1) 小学校

年 度	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年
児 童 数	7,471	7,378	7,298	7,218	7,016	6,890	6,716	6,577
教 員 数	322	322	319	318	332	328	317	318
学 校 数	11	11	11	11	11	11	11	11
学 級 数	237	234	238	239	241	241	236	234

年 度	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	元年
児 童 数	6,440	6,373	6,376	6,386	6,330	6,365	6,323	6,285
教 員 数	324	329	338	337	341	345	341	357
学 校 数	11	11	11	11	11	11	11	11
学 級 数	237	236	209	239	238	242	239	242

#### (2) 中学校

年 度	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年
生 徒 数	3,316	3,301	3,371	3,386	3,437	3,384	3,413	3,365
教 員 数	187	183	188	190	191	192	196	198
学 校 数	6	6	6	6	6	6	6	6
学 級 数	100	98	100	102	103	104	108	105

年 度	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	元年
生 徒 数	3,409	3,335	3,207	3,099	3,057	3,072	3,040	3,033
教 員 数	203	202	196	192	193	193	187	190
学 校 数	6	6	6	6	6	6	6	6
学 級 数	106	104	100	97	99	98	98	98

## 青少年指導員のあゆみ

青少年指導員は、地域社会の青少年の健全育成活動を積極的に推進するため、地域の青少年指導者と連携をとりながら、地域ぐるみで青少年を育成する実践的活動をすすめていく、推進役という趣旨で制度化されました。こうした青少年指導者制度は、次のような過程をたどって発展しました。

昭和21年、戦後の社会秩序の混乱は、道徳を退廃させ、青少年の不良化が激増。文部省（現文部科学省）はこうした事態を対処する教育的処置として「児童愛護班活動要綱」を都道府県に通達。昭和22年、文部省の要綱設定の趣旨に基づき、神奈川県でも「児童愛護班」を結成し、公園、街頭などで児童対象の小集会を開き、レクリエーション指導など巡回活動を実施しました。

昭和24年、各地に「子ども会」結成の気運が高まってきました。昭和25年、「神奈川県校外生活指導者制度」が設置されるにおよび、「児童愛護班」は発展的に解消することになりました。

昭和31年、「校外生活指導者」の活躍により、単位子ども会数が1,000団体となり、さらに昭和35年には、約2,500団体にまで発展しました。

昭和36年、社会教育の重要性と独自性が強調され、単なる学校教育の補足的活動から脱皮して、地域におけるボランティア活動の推進力としての「地区少年指導員」が設置されました。活動内容も、地域の少年の健全育成活動、非行防止活動、環境浄化活動など広範囲に行われるようになりました。

昭和43年、従来の青少年指導に勤労青年の指導を加えることとし「地区少年指導員制度」を改正し、名称を現在の「青少年指導員」としました。この年に第1回神奈川県青少年指導員大会が開催されました。

なお、座間市でもこの年「座間町青少年指導員制度」が発足し、当時の町長から委嘱された青少年指導員は29人でした。

昭和45年、青少年指導員相互の緊密な連帯を図るため「神奈川県青少年指導員連絡協議会」が結成されました。

「青少年指導員制度」が発足して52年になります。社会の変動に伴い青少年指導員に対する社会的欲求や期待もおのずから変化している現在、青少年指導員に対して、青少年の健全育成のための地域づくりをはじめ、地域の青少年のニーズに対して機敏に反応し活動する事が求められています。

## 青少年指導員の役割

1. 青少年の体験活動の推進
  - 自然、文化、スポーツ、レクリエーションなど多様な体験活動の促進
  - ボランティア活動の促進
  - 就労体験（職場体験活動）
  - 子ども会議、討論会など、青少年の意見表明の機会づくり
  - 異年齢交流、地域間交流、国際交流の促進
  
2. 青少年団体の育成と支援
  - 成人指導者、育成者の発掘と養成
  - 青少年（中・高校生）リーダーの発掘と養成
  - 青少年団体の育成と組織づくりの支援
  - 青少年団体への協力・支援
  - 青少年関係団体間の連絡と協調
  
3. 青少年育成に望ましい地域づくり
  - 地域の共通課題について、話し合い、学び合う機会の拡充
  - 家庭・学校・地域の開かれた関係づくりと連携の強化
  - 地域の魅力の再発見と活用
  - あいさつ・声かけ運動などの促進
  - パトロール、キャンペーンなど地域環境健全化の推進
  - 関係機関、関係団体、関係業界への要請
  
4. 青少年に関する相談と対応
  - 会話、対話を通じた青少年との関係づくり
  - 青少年育成に関する相談と地域活動情報の提供
  - 青少年の悩み、心配事相談と専門機関の紹介
  - 関係機関、関係団体との連携強化
  
5. 青少年に関する調査と情報提供
  - 青少年の意識・行動実態の調査
  - 青少年を取り巻く社会環境の調査
  - 青少年が活用できる地域資源の調査
  - 青少年に関する情報の収集、整理、提供



## 平成30年度 事業報告

青少年指導員協議会では、平成30年度の活動方針を次の5項目としました。

- (1) 青少年の健全育成を図る
- (2) 青少年指導員の資質の向上を図る
- (3) 地区協議会活動を充実させる
- (4) 青少年の文化、レクリエーション活動の支援及び推進
- (5) 青少年指導員活動の地域へのPRに努める

以上5項目を柱として、青少年指導員協議会としての全体活動、地区協議会活動、専門部活動を実施しました。また、座間市からの受託事業「青少年フェスティバル」「青少年芸術祭」にも協力し、地域の健全育成に努めました。

### 1 会議・活動報告

#### (1) 全体会・役員会議等

期日	会議名	内 容	会 場
4月7日	三 役 会	第26期座間市青少年指導員委嘱式及び全体会	青少年センター
4月26日	委嘱式・全体会	第26期座間市青少年指導員委嘱式、三役・地区幹事・各部門長の選出、各部門会議	青少年センター
5月9日	三 役 会	平成30年度青少年指導員協議会活動方針・計画案・予算案の確認、青少年フェスティバル実行委員会立ち上げ、青少年指導員大会、歓送迎会について	青少年センター
5月9日	役 員 会	平成30年度青少年指導員協議会活動計画案・予算案、専門部活動計画、平成30年度青少年指導員表彰推薦者について	青少年センター
6月6日	三 役 会	役員会次第の確認、前回以降の報告、青少年フェスティバル実行委員会、専門部活動計画、他市交流研修会、地区報告、青少年芸術祭について	青少年センター
6月6日	役 員 会	前回以降の報告、青少年フェスティバル実行委員会、専門部活動計画、他市交流研修会、地区報告、青少年芸術祭について	青少年センター
7月4日	三 役 会	役員会次第の確認、前回以降の報告、平成30年度青少年健全育成を進める県民大会、青少年問題協議会、平成30年度第1回青少年社会環境健全化推進街頭キャンペーン、第51回神奈川県青少年指導員大会、平成30年度市民ふるさとまつり、座間市・大和市との研修会、地区報告、善行ほう賞・中学生の主張作文審査員について	青少年センター

7月4日	役員会	平成30年度青少年健全育成を進める県民大会、青少年問題協議会、平成30年度第1回青少年社会環境健全化推進街頭キャンペーン、第51回神奈川県青少年指導員大会、平成30年度市民ふるさとまつり、座間市・大和市との研修会、地区報告、善行ほう賞・中学生の主張作文審査員について	青少年センター
8月14日	三役会	第51回神奈川県青少年指導員大会、他市との合同研修会について	青少年センター
9月5日	三役会	役員会次第の確認、前回以降の報告、第33回座間市民ふるさとまつり、三部会事業、各地区報告、神奈川県青少年指導員大会、青少年フェスティバル、青少年芸術祭人形劇部門について	青少年センター
9月5日	役員会	前回以降の報告、第33回座間市民ふるさとまつり、三部会事業、各地区報告、神奈川県青少年指導員大会、青少年フェスティバル、青少年芸術祭人形劇部門について	青少年センター
10月3日	三役会	役員会次第の確認、前回以降の報告、第33回座間市民ふるさとまつり、神奈川県青少年指導員大会、三部会事業、各地区報告、他市との合同研修会、安全・安心まちづくり旬間地域防犯パトロール、安全・安心まちづくり旬間に係る防犯シンポジウム、各地区報告、青少年健全育成大会、青少年フェスティバル、新年会、成人式、青少年芸術祭人形劇部門、青少年芸術祭展示部門会議について	青少年センター
10月3日	役員会	前回以降の報告、第33回座間市民ふるさとまつり、神奈川県青少年指導員大会、三部会事業、各地区報告、他市との合同研修会、安全・安心まちづくり旬間地域防犯パトロール、安全・安心まちづくり旬間に係る防犯シンポジウム、各地区報告、青少年健全育成大会、青少年フェスティバル、新年会、成人式、青少年芸術祭人形劇部門、青少年芸術祭展示部門会議について	青少年センター
11月7日	三役会	役員会次第の確認、前回以降の報告、第33回座間市民ふるさとまつり、神奈川県青少年指導員大会、三部会事業、各地区報告、他市との合同研修会、各地区報告、青少年健全育成大会、青少年フェスティバル、新年会、成人式、新年会、青少年芸術祭人形劇部門について	青少年センター
11月7日	役員会	前回以降の報告、第33回座間市民ふるさとまつり、神奈川県青少年指導員大会、三部会事業、各地区報告、他市との合同研修会、各地区報告、青少年健全育成大会、青少年フェスティバル、新年会、成人式、新年会、青少年芸術祭人形劇部門について	青少年センター
1月9日	三役会	役員会次第の確認、前回以降の報告、三部会事業、成人式、青少年芸術祭「青少年美術展」の作品整理・審査、第39回座間市青少年芸術祭、指導員全体会、各地区報告、新年会について	青少年センター

1月9日	役員会	前回以降の報告、三部会事業、成人式、青少年芸術祭「青少年美術展」の作品整理・審査、第39回座間市青少年芸術祭、指導員全体会、各地区報告、新年会について	青少年センター
3月6日	三役会	役員会次第の確認、前回以降の報告、平成30年度実績報告(案)、平成30年度決算報告(案)、各地区報告、全体会について	青少年センター
3月6日	役員会	前回以降の報告、平成30年度実績報告(案)、平成30年度決算報告(案)、各地区報告、全体会について	青少年センター
3月20日	三役会	全体会について	青少年センター
3月20日	全体会	平成30年度実績報告・決算報告について	青少年センター



(2)専門部活動報告

①文化活動部

期 日	内 容	人 数	会 場
5月24日	部会:今年度研修会について	9人	青少年センター
9月8日	文化部研修～座間市内中学校の成り立ちについて～	33人	市役所

②野外活動部

期 日	内 容	人 数	会 場
7月8日	野外部研修会「新消防庁舎見学と救急講習」研修	33人	市消防本部新庁舎



③「きずな」編集部

期 日	内 容	会 場
6月21日	部会:きずな編集部の今年度の予定について	青少年センター
9月18日	きずな第57号校正会議	青少年センター
9月27日	きずな第57号仕分け作業	青少年センター
10月1日	きずな第57号発行	
1月22日	きずな第58号編集会議	青少年センター
3月14日	きずな第58号校正会議	青少年センター





## (3)対外関係

期 日	内 容	会 場
5月12日	県央地域青少年指導員活動研修会	綾瀬市中央公民館
5月18日	第1回県央地域青少年指導員連絡協議会	厚木合同庁舎
5月24日	市社会を明るくする運動推進委員会	市役所
5月31日	県青少年指導員連絡協議会第1回委員総会	県立青少年センター
6月8日	市防犯協会総会	座間警察署
6月22日	県青少年指導員大会実行委員会(第1回)	厚木合同庁舎
6月28日	市安全安心まちづくり推進協議会総会	市役所
6月28日	県央地域青少年社会環境健全化推進連絡会議	海老名市役所
6月28日	県青少年指導員大会実行委員会(第2回)	海老名市役所
6月28日	県央地域青少年指導員連絡協議会	海老名市役所
7月2日	市社会を明るくする運動 街頭啓発運動	イオンモール 座間店
7月2日	市青少年相談室連絡協議会	青少年センター
7月3日	県青少年指導員だより「つばさ」第1回編集委員会	かながわ県民センター
7月7日	青少年の健全育成を進める県民大会	相模原市杜のホールはしもと
7月10日	市青少年問題協議会	市役所
8月30日	県青少年指導員だより「つばさ」第2回編集委員会	かながわ県民センター
9月7日	座間・大和二市合同研修会打合せ 1回目	青少年センター
9月7日	県青少年指導員大会実行委員会(第3回)	厚木合同庁舎
9月13日	市青少年健全育成大会起草委員会	青少年センター
9月28日	市中学生の主張作文コンクール審査会 1日目	青少年センター
10月10日	市中学生の主張作文コンクール審査会 2日目	青少年センター
10月19日	市青少年善行ほう賞審査会	青少年センター
10月19日	県青少年指導員大会実行委員会(第4回)	厚木合同庁舎
11月3日	市表彰式	ハーモニーホール座間
11月18日	県青少年指導員大会	厚木市文化会館
11月18日	市民ふるさとまつり	ふれあい広場
11月23日	市青少年健全育成大会	ハーモニーホール座間
11月26日	県青少年指導員だより「つばさ」第3回編集委員会	かながわ県民センター
12月7日	座間・大和二市合同研修会打合せ 2回目	青少年センター
12月19日	第2回県央地域青少年指導員連絡協議会	厚木合同庁舎
1月14日	市成人式	ハーモニーホール座間
2月5日	座間・大和二市合同研修会事前講習	青少年センター
2月16日	座間・大和二市合同研修会(文化部・野外部合同研修) 33人参加	青少年センター
3月8日	第3回県央地域青少年指導員連絡協議会	厚木合同庁舎
3月18日	市公共施設再整備計画団体意見交換会	市役所



2市からの受託事業

(1)第30回青少年フェスティバル

期日	件名	内容	参加人数
6月20日(水)	実行委員会	昨年度の実績、今年度の取り組みについて	
10月20日(土)	相模中学校区	スポーツ競技(玉入れ・豆運び)、ハロウィン体験、餅つき体験・配布、綿菓子・ポップコーン配布	239名
11月24日(土)	座間中学校区	昔遊び・豚汁・フランクフルト・フリースロー、ディスクキャッチャー・〇×クイズ・ガチャポン・バルーンアート・ストラックアウト・ふれあい体験コーナー(消防車展示・煙体験等)	500名
12月1日(土)	南中学校区	ソフトバレーボール・フリースロー・スカットボール・スリッパ飛ばし・ストラックアウト・ディスクッター・昔遊び(竹馬、スマートボール、コマ回し他)・フラワーアート作り、カレーライス無料配布	274名
12月2日(日)	東中学校区	ソフトバレーボール(中学生のみ、20チーム)・スカットボール・スマートボール・ストラックアウト・輪投げ・ディスクッター・スリッパとぼし・〇×クイズ・じゃんけん大会・消防車両展示&煙体験・消防服試着・はしご車体験(児童のみ)、カレーライス無料配布	309名
12月8日(土)	栗原中学校区	ホックスホッケー・輪投げ・スカットボール・紙飛行機飛ばし・P・K合戦・ビーズストラップ作り・消防車体験・煙体験、カレーライス無料配布	279名
12月9日(日)	西中学校区	部活動体験・輪ゴムブレスレット作り・ミニゲームコーナー(豆運び、スマートボール、輪投げ)・カレーライス無料配布(青少年指導員・保護司・PTA本部 一人一役)	400名
合計			2,001名

(2)第39回青少年芸術祭「青少年美術展」

期 日	件 名	内 容
7月4日	実行委員会	規約・予算について、役員選出
10月3日	展示部門会議	全体構想・作業日程について
11月下旬	作品出品依頼	市内小・中・高・養護学校へあいさつ(事務局)
12月上旬	作品出品依頼	要項、応募票配布(青少年指導員)
1月11日～1月25日	作品集め	各地区別に作品集め
2月 4日	作品整理 作品審査 奨励賞写真撮影	作品整理・作品審査、作品審査、奨励賞の写真撮影、その他準備
2月22日	前日準備	会場準備、作品展示
2月23日・24日	青少年美術展	第39回青少年美術展
2月24日	受賞式	受賞式典

出品総数 644点・出品者数 628人・奨励賞 50点・入場者総数 1,375人



## 令和元年度 事業報告

令和元年度の活動方針は、平成30年度の活動方針を基本とし、さらに活動の充実を図ることとしました。

### 1 会議、活動報告

#### (1) 全体会・役員会議等

実施日	会議名	内容	場所
4月13日	三役会	活動指針・活動計画案・予算案・役員会次第等について	青少年センター
5月8日	三役会	役員会次第等の確認	青少年センター
5月8日	役員会	活動指針・活動計画案・予算案・青少年課職員体制・専門部会事業・活動予定等について	青少年センター
6月5日	三役会	役員会次第等の確認	青少年センター
6月5日	役員会	活動報告・専門部会事業・活動予定等について	青少年センター
6月19日	三役会	青少年フェスティバルについて	青少年センター
7月3日	三役会	役員会次第・県青少年指導員表彰候補者・ふるさとまつり・他市合同研修・中学生の主張作文コンクール審査員・新任指導員の委嘱等について	青少年センター
7月3日	役員会	活動報告・専門部会事業・活動予定等・県青少年指導員表彰候補者・新任指導員の委嘱等について	青少年センター
9月4日	三役会	役員会次第・他市合同研修・青少年芸術祭展示部門会議・県青少年指導員表彰受賞者・ふるさとまつり等について	青少年センター
9月4日	役員会	活動報告・専門部会事業・活動予定・県青少年指導員表彰受賞者等について	青少年センター
10月2日	三役会	役員会次第・青少年芸術祭展示部門会議等について	青少年センター
10月2日	役員会	活動報告・専門部会事業・活動予定・公共施設再整備計画市民説明会・令和3年度青少年フェスティバル日程等について	青少年センター
11月6日	三役会	役員会次第・ふるさとまつり・青少年指導員の身分等について	青少年センター
11月6日	役員会	活動報告・専門部会事業・活動予定・第27期進退伺い等について	青少年センター
1月8日	三役会	役員会次第等の確認・第27期進退伺い提出状況・全体会議等について	青少年センター
1月8日	役員会	活動報告・専門部会事業・活動予定・全体会議等について	青少年センター
3月4日	三役会	役員会次第等の確認、全体会について	青少年センター
3月4日	役員会	活動報告・実績報告(案)・決算報告(案)・全体会等について	青少年センター
3月18日	全体会	実績報告・決算報告等について	新型コロナウイルス感染症に伴い書面会議



(2) 専門部活動報告

① 文化活動部

実施日	内容	人数	会場
5月21日	部会議：今年度研修会について	8人	青少年センター
5月30日	研修会事前打ち合わせ（部長、事務局）	2人	青少年センター
7月23日	研修会下見	7人	県総合防災センター ・ 県立花菜ガーデン等
8月31日	研修会：県総合防災センター視察及び体験・石鹸作り体験	23人	県総合防災センター ・ 県立花菜ガーデン等



② 野外活動部

実施日	内容	人数	会場
5月16日	部会議：今年度研修会について	9人	青少年センター
6月29日	研修会：普通救命講習	25人	市消防本部



③ 「きずな」編集部

実施日	内容	場所
9月26日	きずな第59号発行・まとめ誌について	青少年センター
2月13日	きずな第59号校正作業・まとめ誌について	青少年センター
3月1日	きずな第59号発行	

## (3)対外関係

実施日	内容	場所
5月17日	県青少年指導員連絡協議会第1回委員総会	県青少年センター
5月25日	県央地域青少年指導員活動研修会	青少年センター
6月3日	市社会を明るくする運動推進委員会	サニープレイス座間
6月25日	県央地域青少年社会環境健全化推進連絡会議	海老名市役所
6月27日	県青少年指導員機関紙「つばさ」第1回編集会議	県民センター
7月1日	第1回県央地域青少年指導員連絡協議会	厚木合同庁舎
7月1日	市社会を明るくする運動街頭啓発	市内スーパー三和・ビバホーム敷地内
7月3日	市安全安心まちづくり推進協議会総会	市役所
7月6日	青少年の健全育成を進める県民大会	茅ヶ崎市民文化会館
7月9日	市青少年問題協議会議	市役所
7月18日	市青少年相談室連絡協議会委員の委嘱式及び協議会	青少年センター
7月27日	県央地域青少年社会環境健全化推進街頭キャンペーン	海老名駅周辺
7月31日	県青少年指導員連絡協議会理事会(代理出席)	県民センター
8月30日	県青少年指導員機関紙「つばさ」第2回編集会議	県民センター
9月12日	市青少年健全育成大会起草委員会	青少年センター
9月27日	市中学生の主張作文コンクール審査会 1回目	青少年センター
10月4日	大和市との合同研修会 第1回事前打ち合わせ	大和市青少年センター
10月9日	市中学生の主張作文コンクール審査会 2回目	青少年センター
10月18日	市青少年善行ほう賞審査会	青少年センター
11月9日	青少年指導員県下一斉キャンペーン	桜木町駅周辺
11月9日	県青少年指導員大会	県立青少年センター
11月17日	市民ふるさとまつり	市役所周辺
11月23日	市青少年健全育成大会	ハーモニーホール座間
11月29日	県青少年指導員機関紙「つばさ」第3回編集会議	県民センター
1月13日	市成人式	ハーモニーホール座間
1月22日	大和市との合同研修会 第2回事前打ち合わせ	大和市青少年センター
2月21日	県青少年指導員機関紙「つばさ」第4回編集会議	県民センター
2月22日	大和市との合同研修会 (活動発表会、バルーンアート・工作講習会 27名参加)	大和市保健福祉センター
3月30日	県青少年指導員連絡協議会第2回委員総会	コロナウイルス感染症に伴い 書面開催

2市からの受託事業

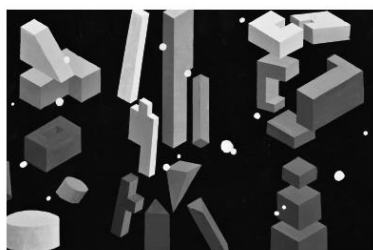
(1)第31回青少年フェスティバル

実施日	件名	内容	参加人数
6月19日(水)	実行委員会	昨年度の実績・今年度の取り組みについて	
10月26日(土)	相模中学校区	ごまりんと記念撮影会・ハロウィン体験・餅つき体験・ミニゲーム(ごまりんバッジ配布)・綿菓子・ポップコーン・麦茶配布	297名
11月23日(土・祝)	座間中学校区	豚汁・フランクフルト・カレー・スカットボール・魚釣り・ペーパークラフト・スマートボール・ガチャポン・フリスロー・○×クイズ・ふれあい体験コーナー(消防車展示・消防服試着)	310名
11月30日(土)	南中学校区	インディアカ・フリスロー・スカットボール・スリッパ飛ばし・ストラックアウト・テイスゲッター・昔遊び(竹馬・スマートボール・コマ回し等)ガラススタイルでコースター作り・フラワーアート・カレーライス無料配布	228名
12月1日(日)	東中学校区	ソフトバレーボール(中学生22チーム)・ストライクホート・テイスゲッター・スカットボール・スマートボール・輪投げ・スリッパ飛ばし・○×クイズ・校長先生とじゃんけん大会・消防車両展示&煙体験・消防服試着・はしご車体験、カレーライス無料配布	362名
12月7日(土)	西中学校区	部活動体験・(体験スタッフラリー)・輪ゴムブレスレット作り・ミニゲームコーナー・カレーライス無料配布	450名
12月14日(土)	栗原中学校区	ホックスホッケー・輪投げ・スカットボール・紙飛行機飛ばし・PK合戦・ビーズストラップ作り・煙消火体験・カレーライス無料配布・その他(美術部)等	251名
合 計			1,898名

(2) 第40回青少年芸術祭「青少年美術展」

実施日	会議名	内容
7月3日	実行委員会	規約・予算・役員選出について
10月2日	展示部門会議	全体構想・作業日程について
11月下旬	作品出品依頼	市内高校・養護学校へあいさつ
12月上旬	作品出品依頼	要項、応募票配布
1/10～1/24	作品回収	各地区別に作品回収
1月29日	作品整理・審査 事前打ち合わせ	部門長、会長、事務局
2月3日	作品整理・審査 奨励賞写真撮影	作品整理審査・奨励賞の写真撮影等
2月28日	前日準備	会場準備・作品展示(コロナウイルス感染症に伴い中止)
2/29・3/1	青少年美術展	第40回青少年美術展受付(コロナウイルス感染症に伴い中止)
3月1日	受賞式典	受賞式(コロナウイルス感染症に伴い中止)

出品総数 679点・出品者数 664人・受賞作品 53点



市長賞



議長賞

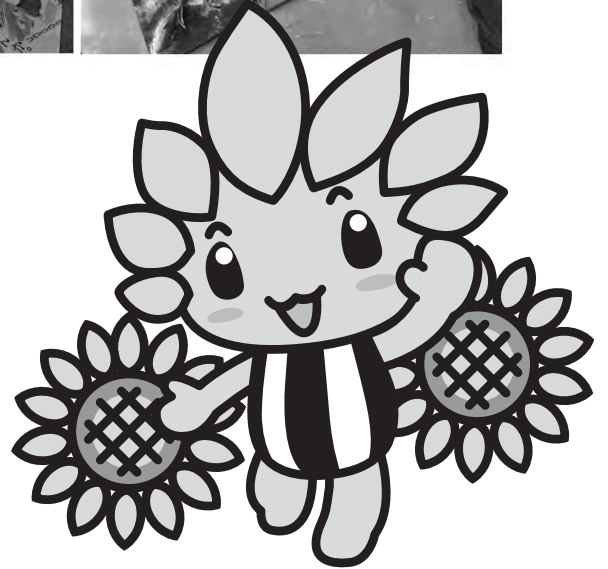


教育長賞



審査員特別賞





# 各地区協議会活動報告

- 座間中学校区
- 西中学校区
- 東中学校区
- 栗原中学校区
- 相模中学校区
- 南中学校区

1. 地区の特色
2. 地区の活動目標
3. 地区の主要活動
4. その他の活動
5. 2年間を振り返っての感想



## 1. 地区の特色

相武台前駅周辺には次々とマンションが建設されるなど、相武台、緑が丘地区が住宅地になりました。また、相武台前駅もリニューアルされ、相武台南口の道路も拡張されるなど、周辺の施設も賑わいを見せています。その一方、小池地区は水田こそは全く姿を消しましたが、畑とそこに点在する雑木林や竹林などは手つかずの自然がまだ色濃く残っている地域であるとともに、昔からの習慣や伝統行事も数多く残っています。

また、校区内には市役所、文化会館、図書館、消防本部、市民体育館、そして総合病院も新設され、「市民ふるさとまつり」をはじめとして様々な行事のメイン会場になるなど市の行政・文化の中心となっています。

## 2. 地区の活動目標

- ① 理解と愛情による青少年の健全育成
- ② 地域の文化、レクリエーション活動の推進
- ③ 地域、学校、家庭との連携した活動
- ④ 学校、青少年団体、自治会など他団体の活動に参加支援



ごまりん  
座間市マスコットキャラクター

## 3. 地区の主要活動

### ◎座間中学校区青少年フェスティバル

#### 平成30年度

平成30年11月24日、「第27回青少健ふれあいまつり」を座間中学校校庭で実施しました。今回の開催テーマは「地域で育む 未来の宝」です。秋晴れの中、開会式には遠藤座間市長も参列していただき盛大に行われました。例年通り小中学校のPTA、関係各団体の皆さまのご協力のもと実施しました。恒例の豚汁は地域の方々から提供された野菜で作成し、来場された皆さま全員に食べていただきました。そして、今回初めて実施された「煙体験」では貴重な体験ができました。また今回も座間市のマスコットキャラクター「ごまりん」が登場し、来場者との記念撮影や○×ゲームにも参加して子供たちに大好評でした。

#### 令和元年度「深めよう親子の絆 地域で見守る青少年」

令和元年11月23日、座間中学校の体育館で開催しました。例年晴れの日が多く校庭で行なっていましたが数日前から雨の予報・・・今回は雨バージョンで行いました。初めてのスタッフも一同協力し準備すること約1時間、会場は無事に整いました。座間市長をはじめご来賓を迎え開会式が始まり会場は広くありませんが、逆に目が行き届きコンパクトなフェスティバルもいいね!と感じました。昔遊びなどゲームも予定通り行い、いつものように子供たちは喜んでくれたと思います。



大変だったのは恒例の豚汁やフランクフルトの担当者です。焚き木を使うためテントを組み立て屋根を工夫して一所懸命お父さんたちは取り組みました。お陰様でとってもおいしい豚汁やフランクフルトの出来上がり～。子供達や参加者に配られておいしく頂きました。

また、雨天にもかかわらず地元消防団員の方々が「消防車の展示」をして頂きました。例年より若干参加者は少なかったものの地域の方々や青少健の各団体皆様のご協力により無事に開催できましたこと感謝いたします。



#### 4. その他の活動

座間中学校には、地域交流協議会という歴代PTA役員や地域の方々を中心とした任意団体があり、青少年指導員は全員この会の会員で年間を通じて連携を図った活動をしています。

本会は座間中学校及び生徒を全面的に支援しており入学式や卒業式の参観の他、吹奏楽部による「ふれあいコンサート」の観覧、青少健まつりの協力そして駅伝大会の観覧など様々な行事に青少年指導員と共に参加し活動しています。

#### 5. 2年間で振り返っての感想

有山：青少年指導員を委嘱され5期(10年)が経過しました。野外部長を務めさせていただき、会長をはじめ各中学校区の指導員の皆さまと交流を図ることができたと思います。これからも当地区の指導員と協力し、地区小中学校のPTAと連携を図り、青少年の育成に努めていきたいと思っています。

清水：今期も指導員メンバーを始め地域の皆様と一緒に様々な活動に参加し、子ども達と触れ合えた事は毎回とても楽しくて貴重な時間となりました。日々の新しい発見あり、反省ありの2年間でしたが、この経験が何よりの宝物です。大変お世話になり、ありがとうございました。

栄：3期目、なんだかあっという間に時間が過ぎていった2年間でした。この2年間の一番の思い出はバルーンアートで【ごまりん】が作れるようになったことです。今年のフェスティバルではのっぺらぼうのごまりんをたくさん作りました。顔は子供たちに書いてもらい、個性的なごまりんがたくさんできて、とても面白かったです。またどこかでこのごまりんをお披露目出来るよう技に磨きをかけたいと思います。

中村：今期もお世話になりありがとうございました。いろいろなイベントに参加でき有意義で楽しく活動させて頂きました。来期も皆様とともに、微力ながら活動していきたいと思います。

山本：指導員になってあっという間に4年目が終わります。この2年間は地区幹事になってまた少し指導員のお仕事がわかりました。今年のフェスティバルでは私達の作ったごまりんのバルーンに子供達に顔を書いてもらいました。子供達の楽しそうな笑顔が見られたのがとても良かったです。また来期ももっと多くの笑顔を見たいと思います。

人見：2年間またあっという間に過ぎました。いろいろな催しに参加させてもらい、良い経験をさせて頂きました。ありがとうございました。

三ツ橋：野外部の活動など、他学区の方々と話す機会がある活動にあまり参加できなかった事が残念です。

佐久間：青少年指導員の役割をいただき、各学区内の皆さんと新しい出会いがありました。中でも、美術展の準備等では作品を通じて、家庭や学校での楽しかった思い出の一頁が作品に表れており、私達の心に伝わってきました。今後も地域の皆さんと一緒に子供達とのふれあいを大切にしていければと思っています。

増尾：二年間、青少年指導員として携わらせていただきました。普段、学校職員として働いているだけでは知ることができない、地域の方々の子どもたちに対する見えない部分の支えもあるのだと、実感しました。学び多く、充実した二年間を送らせていただきました。ありがとうございました。



# 西 中 学 校 区

## 1. 地区の特色

西中学校区は座間市の西側に位置し、まわりには水田と畑が多く、西には相模川と自然に恵まれた環境にあります。どの学校からも素晴らしく雄大な大山を望むことも出来るのがこの地区の宝だと思います。また、ひまわり祭りや大凧祭りなどの会場にも歩いていけるほど近いというのも特権です。

田んぼが多いことから、地域の方々のご協力もあり、座間小、入谷小は田植えから稲刈りまで米作りを体験することが出来ます。そして12月には学校行事として、餅つき大会を開催し、地域の方々とふれあいながら美味しいお餅をいただきます。

学区内には、座間神社、鈴鹿明神社、諏訪神社等の歴史ある神社があり、お囃子や歌舞伎などの伝統文化を地域の方々が子どもたちに指導していただいています。

座間小学校は創立125年となります。地区の方々に支えられながら歴史ある地区だということを実感します。

## 2. 地区の活動目標

『地域に根ざした指導員活動』が目標

- ① 地域行事に積極的に参加しよう
- ② 地域の輪、人の輪を大切にしよう
- ③ 地域の文化、レクリエーション活動の推進役になるよう努力しよう

## 3. 地区の主要活動

### ◎西中学校区青少年フェスティバル

平成30年12月9日（日）

今回から始まった部活動体験という新しい試みは、小学生の参加が減少しているので、小学生が興味を持って参加できる企画はないかな？と考えたところ、PTAの役員さんのアイデアで始まりました。

手探り状態で始まった企画でしたが、PTAの皆さん、西中生の皆さん、先生方のご協力のもと、大好評のイベントになりました。

中学校から比較的遠い入谷小の子ども達は、大通りを超えて西中側に子どもだけで来るのは不安ではないか、ということで入谷小の校門前に集合してもらい指導員が引率しました。

座間小、入谷小の小学生100人余りが参加し、最初に全部活を周り、その後お目当ての部活を訪問しましたが、部活ごとに小学生が楽しめるような趣向を凝らしてくれて、優しいおにいさん、おねえさんが部活動の楽しさを体験させてくれました。

初めての経験に最初ぎこちなかった子ども達も次第に笑顔になり生き生きと楽しむ姿が印象的。



可愛い的当てを作り卓球の楽しさを教えてくれた卓球部、紙を切って素敵な立体的な工作を教えてくれた美術部など。どの部活も快く小学生を迎え入れてくれたので、部活動体験がとても充実して時間が足りなくなってしまうほど。

部活動体験の他、輪ゴムで作る輪ゴムブレスレットコーナーや、ミニゲームコーナーなどもあり、ミニゲームコーナーでは豆運び、わなげ、スマートボールが楽しめました。豆運びは採点競技なので、皆、お箸を駆使して真剣な面持ちで頑張っていました。

初めての試みで最初は不安もありましたが、結果、小学生は中学校の部活動を経験出来、中学生は将来の後輩たちに部活動の楽しさを紹介出来て、とても素敵な企画だったなあと思いました。

閉会式後は、恒例のPTAさんが心を込めて作ってくださったカレーを食べましたが、カレーが足りなくなるほどの参加人数というのも、嬉しい悲鳴でした。



## 令和元年12月7日（土）

当日雪予報もあり心配しましたが、小雨混じりの寒い日ではあったものの無事に開催されホッとしました。

昨年、大好評だった部活動体験の第2弾！今回は、入谷小だけではなく、座間小の子ども達も希望者は小学校の校門前に集合し、指導員やPTAの方が引率しましたので、昨年よりも座間小の子ども達の参加も増えたり、見学の保護者の方も増えたりと、更に盛り上がりました。

前回以上に、いろいろと考えてくれて、とても優しく接してくれていた西中生のみなさん。体育館や運動場では、運動部のおにいさん、おねえさんが丁寧に手ほどきをし、いつのまにか練習の輪に入っていました。

剣道部では防具をつけてあげて本格的に教えてあげたり、PC部ではドローンを飛ばしたり、合唱部や吹奏楽部では素敵な合唱や演奏を披露し一緒に楽しんだり、あっという間に時間が過ぎていきました。



前日も多くの小学生の参加があり、カレーが足りなくなったので、今回から調理室ではなく外で釜3つを使用しカレーを作ったのですが、水の量が多すぎてカレーが足りなくなり当日買い足して作ったら、カレーが多すぎてしまいましたが、子ども達は何度もお替りをし、最後はカレーのみをお替りする子も。

多めに用意したはずの白米も足りなくなったり、と少しバタバタしたところもありましたが、PTAさんや指導員が一丸となって協力しあいながら、大人も楽しめたフェスティバルになりました。



趣向を凝らし優しく指導してくれた西中生や先生方、お米を提供してくださった方々、準備期間から共に協力してくださったPTAのみなさんなど、携わった多くの皆さまのおかげで、子ども達の笑顔溢れるフェスティバルとなりました。

#### 4. その他の活動

ごま遊友クラブ（座間小学校）や、毎年恒例になっている7月31日の鈴鹿明明社の宵宮祭時の境内及び周辺の防犯パトロールを行っています。西中の学期始まりの2週目と4週目の（火）（木）には、登校時の昇降口付近で挨拶運動を行っています。

#### 5. 2年間を振り返っての感想

角田：昨年の春に26歳になる娘が仕事の関係で一人暮らしを始めました。親としては心配な面もあったのですが、いつまでも親元においておくのもどうかなという気持ちもありました。親として一人前の人間に育てられたのか、という葛藤は誰にでもあるのではないのでしょうか。自分の子どもを独り立ち出来るように育てる、間違った道に進まないように導く。ちょっと大げさな言い方ですが、それは親や家族だけでは限界があると思います。社会で育てる、地域で見守る。今の時代これがとても大切なことだと感じています。そんな地域社会の一員でありたいと思っています。

吉川：元号が令和に代わり、またオリンピックイヤーである本年は、スポーツ交流を通じて文化、芸術など日本が注目される年であり、子どもたちも夢と希望を得る輝かしい一年であると思います。地域交流を通じて子どもたちと、学び・考え充実した活動ができればと考えます。来期も皆さんよろしくお願い致します。

松本：今期は、地区幹事をやることになり、青少年指導員の活動が全然わかっていないのに良いのかな？って思いながら活動してきました。メンバーにも恵まれ楽しく活動できました。次期も青少年指導員をやらせてもらいますので、西中学区の運転手で頑張ります。

小畑：今年度の活動で特に印象に残ったのが、やはり青少年フェスティバルです。昨年度に引き続き部活動体験を主に行いました。指導員をはじめ、本校PTAの方の尽力のお陰で、多くの児童が集まってくれました。生徒たちもそれぞれ工夫して小学生をもてなし、充実した時間を過ごすことができたと思います。

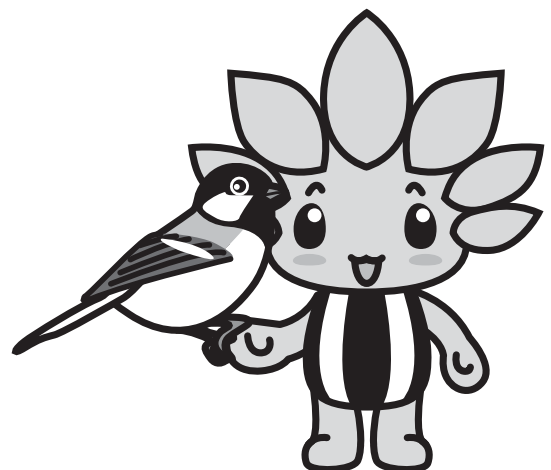
小林：また2年が過ぎました。歳のせいでしょうか、年々早く感じます。今期は、文化部長でした。初めて役員会に出たり、研修の企画をしたりと、これまでどちらかというに参加するだけだった指導員活動が、どうすれば沢山参加してもらえるか、どうしたら有意義なものになるかなど、文化部員や役員、事務局と一緒に考えながら活動できたこと、いい経験になりました。ありがとうございました！

鈴木：年賀状を書いていて気づきましたが、なんと還暦秒（年）読み状態です！身体が動かず、年齢を感じています。気持ちはあるのですが、なかなか思うように行事に参加出来なくて申し訳なく思う、今日この頃です。

明石：指導員活動も2期、4年が過ぎ、様々な活動を通じて人との繋がりや、携わった方々の協力が有難く、指導員をやったからこそその貴重な経験をさせていただいているなあ実感しています。わが子が二人とも巣立ち夫婦二人だけの生活になり、わが子と接する機会が極端に減った今、青少年フェスティバルなどを通して多くの子どもたちの笑顔に触れたことはより感慨深く心に残っております。いつも楽しくチームワーク良く活動できる西中学校区の仲間たちにも感謝ですし、他校区の指導員さんたちと交流できたこともありがたかったです。

山城：ベテランの指導員さん卒業の後で不安ばかりの中、活動に参加しました。仲間入りを先輩指導員さんたちも快く迎えて頂き2年間楽しく活動させていただきました。今後とも頑張りますのでご指導のほどよろしくお願い致します。

中島：1期2年目を終えて、今年度も多勢の小学生が参加して開催した青少年フェスティバルが成功し、そこに関わる事ができ、とても良かったです。来期も同じ学区の指導員の方々に助けて頂きながら参加協力していきたいと思います。





## 1. 地区の特色

長期の経済低迷により、高度成長期時代から市の発展に貢献してきた工場などが撤退し、地区の特色であった企業城下町的要素は薄らいでいます。その代わりに、大型スーパーや大型遊戯施設が何軒もでき、地域の人たちだけでなく、遠方からの買い物客なども多く、休日は車の渋滞が続いています。

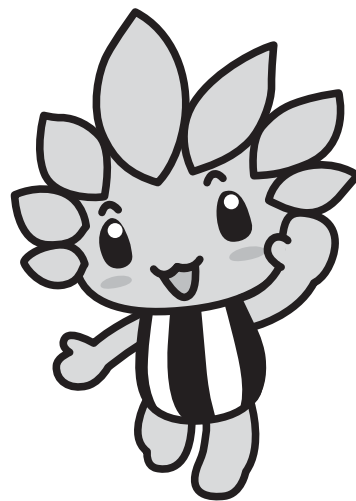
隣の学区（相模中）に大きな商業施設がある為、国道246号線から東中学校区を通り行く車も、以前と比較して増加している傾向にあります。

しかし、長年続けて頂いている登下校時の地域の方々の見回りや、PTAの登下校時指導に助けられ、大きな事故もなく、子供達は安心して暮らしています。

## 2. 地区の活動目標

「地域密着型の指導」が基本目標

- ① 健全育成協議会との綿密な連携
- ② 自治会、青少年団体などの活動事業に積極参加
- ③ 青少年の社会参加活動への援助



## 3. 地区の主要活動

### ◎東中学校区青少年フェスティバル

#### 全員参加のフェスティバル（2018）

12月2日(日)、くもり空のもと東中学区フェスティバルを開催しました。

今回も座間市消防本部、消防団の方々のご協力により消防車の展示、防火服の試着、煙体験、消防はしご車体験等、子供達に楽しんでももらいました。

今回も多くの人にお手伝いしてもらい（東中学校区のPTA, 青少年補導員、指導員OB、地域の協力者、東中の生徒会、ボランティア部、先生）等で役割分担して、輪投げ、スカットボール、デイスゲッター、ストラックアウト、スマートボール、スリッパ飛ばしを実施。

体育館でのソフトバレーも大変盛り上がり、○×クイズ、校長先生とじゃんけん大会の優勝者には素敵な賞品がごまりんより手渡され大喜び！

最後に校長先生が主になって大鍋で作ったカレーを全員でたべました。

今回は、とびつきり美味しく多めに購入したご飯が全部なくなり笑顔で終了。

昨年度の内容は一緒にカレーのお米が85Kで、ごまりんが来てくれた！

#### 全員参加のフェスティバル（2019）

12月1日（日）快晴のもと東中学校区フェスティバルが開催されました。

お手伝い頂いた方は、学区内4校のPTA、補導員、他校の指導員、OB、地域の協力者、

東中の生徒会、ボランティア、先生等、多くの方々に支えられ開催されました。

今回も座間市消防署、消防団の方々に協力頂き（消防車両展示、煙体験、消防はしご車体験防火服試着等）、見学&体験コーナーを設け大変賑わい貴重な経験。

体育館でソフトバレー、校庭でスマートボール、輪投げ、ストラックアウト、ディスクゲッター、スカットボール、スリッパ飛ばし、○×クイズ、じゃんけん大会と盛り沢山のゲーム。

校長先生のじゃんけん大会では、勝利者、全員が小学生で「中学生しっかりしろ」とはっば！

閉会式後は、火おこしで、薪不足のハプニングがありました。が“シェフ校長”指示のもと、出来た熟成カレー（お米は、昨年度より一割増の100キロ）を平らげて解散！

最後に参加者362名、お手伝い頂いた方、来てくれた子ども達ありがとう。



#### 4. その他の活動

夏には、ひばりが丘地区での夏祭りが各自治会で行われ東中学校区内のパトロール実施をしています。秋にはひばりが丘小学校のふれあい祭り、旭小学校のときめき祭りに紅白歌合戦に出場した世界のけん玉コーナーを出店、子供と昔取った杵柄と自信満々の親御さん？達と楽しく時間を過ごしています。

又、他学校区の指導員さんにお手伝い頂いてのバルーンアートは年々質と量が増え用意した風船が全て無くなる盛況ぶり、お手伝い頂いた方々ありがとうございました。

#### 5. 2年間を振り返っての感想

中野：指導員を更新するか否か、返事をする度にとっても悩みます。しかし、活動を通じて得られる物は多く、自分の活力のひとつになっていると気付きます。指導員でいる事で、青少年や地域の為に微力ながら貢献できたと思います。他市指導員との交流や研修・フェスティバル、とても楽しむ事が出来ました。

山田：今年度は新メンバーが入るも、東中は相変わらずの人員不足感は否めませんでした。しかしながらそこはワンチームで乗り切った二年間でした。フェスティバルも内容変更を検討する時期では、という意見もあり、次年度は熟考の年になるかも。ご協力いただいた他校の指導員さん、改めてありがとうございました。

佐藤（伸）：佐藤指導員の活動を通して自身が得た事は、地域に根差した様々な方々と共に活動し、地域を良くしていく事の大切さを知りました。自分は仕事柄中々



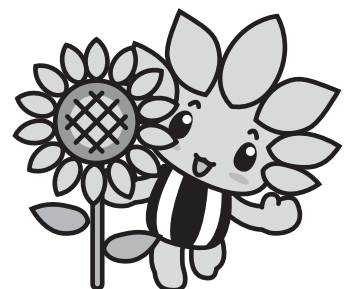
活動に参加できず、ご迷惑をお掛けしておりますが、そんな自分にも活動の場を与えて頂き感謝しております。これからも指導員の活動を通して自身が成長していきたいと思ひます。

佐藤（和）：慌ただしく過ぎ去った2年はあっという間で、任期の期末を向かえます。気が付けば5期10年を継続してました。形が無いものだけに、おそらくこれがひとつの節目という感覚なのかなと思ひます。ここまで無事に楽しく歩んでこれたのは、地元東中学区の皆さんとの仲間意識があり、そして事務局と三役の方々の並々ならぬご理解を頂いたお陰と感じています。普段見ることのない指導員の名簿を見ると、経験年数の先輩や同期の方も数えるくらいになりました。自分はどこまで出来るのかな、と思ひつつ、来期はこれから10年を背負ってくれる新しい若い人の発掘も頑張りたと思ひます。また皆様宜しくお願いします。

吉田：座間市青少年指導員の活動を振り返って、子供たちの笑顔、言葉を身近に接する事が出来て、大変なこともあります、遣り甲斐があります。これからも活動の力になれるようにがんばりたいと思ひています。

中川：2年間あっという間でしたが、昨年は入院で色々ご迷惑をお掛けして、気が付いたら長老になっていました。今後も、子供たちが安心して部活に、勉学に励めるような環境を構築出来る様、明るく、仲良く、楽しく、活動していきます！

要田：青少年指導員として2年間勤めさせていただきました。最初は正真正銘、右も左もわからない状態で役割を担うことになり、ご迷惑をかけてばかりでした。そんななか親切にしてくださいました方々には本当に感謝しております。私が行ったものには、青少健の連絡会議の参加、夏祭りの夜間パトロール、青少年フェスティバルの運営などが挙げられます。こういった行事に参加させていただくなかで、地域の方との連携を深めることの大切さや、学校と地域がどれだけ深く関わっているのかを目の当たりにすることができました。私は教員として日々過ごしていますが、この2年間で地域連携という視点で視野が広がりました。学校というものはやはり地域の方々の協力があつて成り立っているものなのだと気づくことにもつながりました。そして携わっている方々に共通していえるのは、「子どもたち」のためを思い、活動していることです。私はこれからも、子どもたちの健全な育成に全力を尽くしていきたいと思ひます。今回の経験は私にとって本当に貴重なものになりました。改めてお世話になりました。ありがとうございました。



## 1. 地区の特色

座間の中心に位置するここ栗原は、都市化と、昔ながらの風景が混在している地域です。遠くに阿夫利嶺を望み、公園では四季折々の風景が楽しめます。

ここに住む人々は、地域の文化と風習を守り、それを継承する活動を展開しています。青少年の健全育成においても地域の関連団体が連携をとりあい、それにふさわしい地域づくりをめざしています。

## 2. 地区の活動目標

- ① 指導員として、より地域の状況を把握する
- ② 挨拶を通し青少年への声掛けを積極的にする
- ③ 健全育成連絡協議会との情報交換を密にする
- ④ 地域行事への参加、協力を積極的にする
- ⑤ 青少年の夢の実現に協力を惜しまない



## 3. 地区の主要活動

### ◎栗原中学校区青少年フェスティバル

#### 平成30年度（平成30年12月8日開催）

12月8日(土)、晴天のもと青少年フェスティバルを開催する事ができました。

当日は近隣の小学生・栗中生・来賓の方、お手伝いくださった方々を含め279名と賑やかで、楽しい1日となりました。

平成30年度のフェスティバルから新種目として「ビーズストラップづくり」をはじめました。美術部の生徒さんに指導してもらい約30分で完成、小学生や男子生徒にも大人気でした。



#### 令和元年度（令和元年12月14日開催）

晴天のもと、栗原中学校区青少年フェスティバルが開催されました。

実行委員長の競技開会宣言後、自分達で興味ある競技に分かれそれぞれに楽しんでいました。特に、「紙飛行機飛ばし」は決勝戦を皆の前で行うという種目で、最高の盛り上がりになりました。他には、輪投げ、スカットボール、PK合戦、ボックスホッケー、ストラップ作り、煙.消化体験など、それぞれに多くの参加者を集め、輪投げはスコアカードが足りない程になりました。美術部については、生徒達の主体性が培われてきて企画内容

がグレードアップしてきました。また、生徒諸君の準備から片付けまでの行動や交わす挨拶には栗中の校風を大いに感じました。表彰式を終え楽しみであるカレーを食べ、その後閉会式を行い片付けをして終了です。各競技の進行は、栗中の先生方と小学校3校のPTAの皆様をお願いをし、栗中PTA本部の皆様には前日からのカレーの準備、当日の最終までお手伝いをしていただきました。皆様のご協力のもと無事に開催できた事に感謝を申し上げます。



#### 4. その他の活動

##### あいさつ運動

栗原中学校PTA活動の「あいさつ運動」に、毎月1回、青少年健全育成連絡協議会の協力日、校長先生をはじめ、先生方、PTA、自治会、民生委員、青少年補導員の方々と一緒に参加しています。

校門周辺に立ち、登校する生徒さんへ今日も一日頑張ってもらいたいという気持ちを込めて「おはようございます。行ってらっしゃい。」と声かけしますが、「おはようございます。」の返事をもらえると、私達も朝から気持ちが良いです。



#### 5. 2年間を振り返っての感想

大澤：青少年指導員に所属している事で、栗中学校区青少健に出席し各学校・地域の諸団体から情報をいただき、それぞれの様子や状況がわかり非常に良い経験をしています。又、いろいろな方達との面識も増え視野が広がる思いです。指導員活動は若干マンネリ化してきましたが、良いメンバーに囲まれて2年間を活動することができました。今後の課題は新しい何かを見つけることです。

寺田：今期は、新人も入り、新しい風と絆が生まれたのでは？と思っています。これからもいっそうのたかみめざし頑張りたいなあ～と思います。指導員・小・中学校・各団体・地域の人達の協力、助けがあったからこそやってこれました、感謝しております。

深谷：地区内メンバーの雰囲気もよく、協力して楽しく活動できました。青少年フェスティバルも、栗中の先生方、生徒さん、小中学校PTAの方々のおかげで、年々スム

一ズな流れで進行でき、とても感謝しています。いろいろな方々のご協力をいただき、無事2年を終えることができました。ありがとうございました。

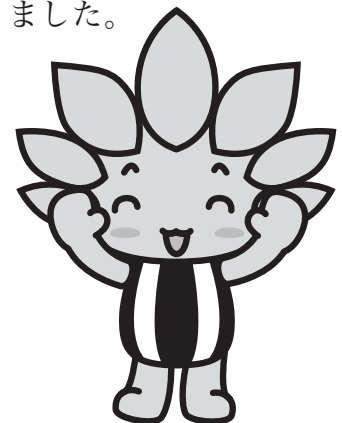
有村：青少年指導員とは？と右も左もわからず、あれよあれよと4期を活動させていただきました。何か出来たかと言うと残せた物は無いと思いますが、色々な経験をさせていただき、私自身が少し成長出来たのではないかと思います。今期で活動が終わる事に少し淋しさも感じますが、これからは、地域の者として皆様と関わる事が出来ればと思っています。この8年は、実りの多い8年であったと思います。ありがとうございました。

松崎：我が子が成長し学校や地域と少し距離を感じるようになってきましたが、指導員としての活動を通じて改めて地域の繋がり的重要性を感じました。またメンバーにも恵まれ楽しい2年間を過ごすことができました。ありがとうございました。

平野：青少年指導員として「青少年の健全育成活動を推進するため地域と連携を取りながら青少年を育成する実践活動を進めていく推進役である」との事に深く大きな役割があると共に、重要性に気づきました。活動には参加出来ないことも多かったのですが、皆さんに助けをいただき楽しく充実した2年間を送ることが出来ました。本当にありがとうございました。

池谷：何もわからないまま青少年指導員として活動させていただいて早2年、頼りになる先輩方に囲まれてなんとか一期無事に終了する事が出来ました。また、子供達のために多くの方々のご苦勞があった事がわかって有り難いことだなあとしみじみ思いました。

藤本：初めて務めさせていただく青少年指導員はどのような仕事があるのか、どれくらい準備に時間がかかるのかなど、知らないことや、わからないことばかりでした。しかし、栗原中学校区の指導員の方々が丁寧に教えてくださったことで、一つひとつわからないことも減っていき、最終的に青少年フェスティバルも成功を治めることができました。学校だけでなく、地域の方々の支えがあって生徒たちが安心して成長できる環境がつくられているのだと実感、勉強させていただいた二年間になりました。二年間ありがとうございました、そしてお世話になりました。





## 1. 地区の特色

私たちの地域は、市の最北に位置し、相模原市と大和市に隣接した、小田急相模原駅を中心に広がる商店街と住宅と工場が混在する町です。最近では、工場の跡地や駅周辺の整備に伴い高層マンションが建設され、町の外観も変化し始めています。

この地域の特色として、地域交流の核となる神社・仏閣が一つもないことが挙げられます。そのため、水道道に植樹された桜並木で、地域交流の場として「桜祭り」が開催され、今ではなくてはならない行事として定着しています。

## 2. 地区の活動目標

- ① 地域に密着したふれあい
- ② 地域の行事等に参加協力し健全育成団体との連携を図り、青少年健全育成のサポート役となる

## 3. 地区の主要活動

### ◎相模中学校区青少年フェスティバル

平成30年度は10月20日（土）開催。メイン企画は昨年に引き続き2年連続でハロウィン。体育館に長テーブルを置き、用意した仮装グッズで仮装を、床の上では様々な模様を貼りオリジナルマントを作って楽しんでもらった。そして、この企画には欠かせないメインキャストの仮装ざまりんも登場し記念撮影会も盛況だった。ストップウォッチを陸上男子100m日本記録「9.98秒」で止めるゲームと、相模が丘3丁目地区社協の「電撃イライラ棒」にも子ども達が集まった。紅白の玉入れも用意したが、今回は前回のように競争させるでもなくそのまま放置。遊びたい子どもが勝手にカゴめがけて球を投げると言うちょっと中途半端な格好になった。昇降口前では、ポップコーン、わたがし、テントでは餅つき体験とつきあがった餅が振る舞われ、協力団体さんのおかげで「食」も「遊」も充実したフェスティバルになった。



令和元年度は10月26日（土）開催。平成29年度からメイン企画になったハロウィンも3回目。内容も3年続けてほぼ同じで、体育館でハロウィンの仮装とオリジナルマント作り、仮装ざまりんと記念撮影会、ゲーム、昇降口前ではポップコーン、わたがし、テントで餅つき体験。前回と違うのは体育館の玉入れがなくなったことと、「9.97秒」ゲームに景品をつけたこと。玉入れは前回の中途半端な結果を見て中止を決めた。景品にはオリジナル缶バッジとお菓子をを用意した。今回作った缶バッジはゲームの景品の他にも、協力団体さんや関係者、仮装のお手伝いをしてくれた生徒達にも配られた。3年連続でハロウィンをテーマに開催したフェスティバルは徐々に認知度が上がっている。このまま継続し相模が丘地区の秋の一大イベントにできればと思う。



#### 4. その他の活動

毎年参加している地域の行事は、4月：桜まつり、7月：北地区文化センター 一日子どもランド、なかよし広場 夏祭り、10月：市民レクリエーション大会である。今期（平成30・令和元年）も桜まつりで他団体と協力して子ども達に塗り絵などで楽しんでもらった。相模が丘3丁目なかよし広場で開催される夏祭りにも出店。飲み物や当てくじおもちゃを販売し、今期も売り上げを「東日本大震災・津波遺児支援」に送った。市民レクリエーション大会は例年通りスマートボールと輪投げ、平成30年は開催されたが令和元年度は台風が接近して中止。一週間後に開催される青少年フェスティバルの告知の場でもあるので中止は痛手だった。今期も様々なイベントに参加してきたが年々子どもが少なくなっている。少なくなっているのは青少年指導員も同様で、今期で重鎮2名が退任、欠員を埋める試みもうまくいかず、来期は今までのような活動ができなくなるかもしれない。イベントの企画・動員数以前の最大の問題がこれなのだ。

#### 5. 2年間を振り返っての感想

下山：指導員の仲間や地域の皆さんに支えられて活動ができました。ありがとうございます。青少年のニーズに合う活動がこれからは必要に感じ、行事をこなせば良い的な感覚でここ最近では活動していた事にあらためて反省しています。指導員も「ワクワク感」を持たないとダメですね。

藏本：どうせやるなら楽しくと、はたと気付けば12年。そろそろおあとがよろしいようで。皆様お世話になりました。

東谷：なんとか無事に今期を終えます。青少年課、指導員の皆さんには大変お世話になり、ありがとうございました。来期もよろしく願いいたします！

吉澤：度重なる説得に屈し青少年指導員になった10年前、ここに「線路は続くよどこまでも…ああ恐ろしい」と書いた。あの時は半分冗談だったが現実になってしまった。今期も楽しく、有り難く、悩ましく、感動的で、有意義でした…そして線路は続く。

高橋：早いもので4期が過ぎようとしています。いつもながらフル活動できなかつたかなと反省しています。来期はさらに厳しい定数になります…ベストを尽くします。

石田：私の青少年指導員になるきっかけが現役最後の職場が、青少年課だったことから、指導員で人形劇を続けるためには、自分が退職後に指導員にならなければとの思いで、地元の相模中学校区の指導員として、お仲間に入れていただいたのですが、毎月の地区協や、地元のイベント等にも仕事やらで参加出来ない事が多く、相模中学校区の青少年指導員の方々には、ご迷惑をおかけした2年間だったと思います。長年にわたり青少年指導員として、御尽力いただいた方々が卒業されるとの事、長い間、ご苦労様でした。今後も、御指導御鞭撻宜しく願いします。最後に、青少年指導員による人形劇は、準備が大変で会長をはじめ、東中、栗原中、西中、相模中の有志で行っていますが、その中で、女性が中心で人形や小道具作りをしていただいておりますので、感謝、感謝です。次回も出来たらと思いますので宜しくお願いします。

板羽：2年間青少年指導員を担当させて頂き、様々な場面で地域の方と交流することができました。特に青少年フェスティバルでは、まだ小さい子どもから中学生、保護者の方など様々な方が中学校に集まり話す機会はなかなかないので勉強となりました。生徒もボランティアを通していつもと違う姿を見られたことを嬉しく思います。また、様々な世代の方と接する機会を得て、生徒自身も成長することができたように感じます。初めて青少年指導員という立場になってから他の指導員の方々が温かく迎えてくださり、会議を行い、様々な交流をする中でたくさんの経験ができました。指導員という立場ではなくなりますが、また何かの機会に関わることができればと思います。2年間ありがとうございました。



## 南 中 学 校 区

### 1. 地区の特色

私たちは国道246号バイパスの南側から海老名市境までの南中学校区を活動範囲としています。区域内には東地区文化センター、東原コミュニティセンターがあり、斜面地等の宅造化により新築住宅地が増えてきました。学校近くには目久尻川や蛍で有名ないっぺい窪があり6月には蛍の舞う姿が見られます。また、近くには龍蔵神社があり毎年7月には祭礼でにぎわいます。

### 2. 地区の活動目標

- ① 地域の行事等へ積極的に参加、協力する。
- ② 地域に根ざした指導員を目指す。
- ③ 青少年健全育成連絡協議会との交流を密にし、情報交換をする。



### 3. 地区の主要活動

#### ◎南中学校区青少年フェスティバル

#### 平成30年度(平成30年12月1日開催)

青少年指導員の活動としての一大イベントは青少年フェスティバル。今年は12月1日(土)、例年通りの晴天の下で開催されました。南中学区内の小学校3学年以上の生徒に開催案内を配布しています。フェスティバルは体育館と校庭で各競技を実施、体育館では、毎年「ニュースポーツ」を楽しんでもらう目的でチーム競技を行います。今年は「ソフトバレーボール」を実施。壇上ではフラワーアート作りを行いました。校庭では、フリースロー・スカットボール・スリッパ飛ばし・ストラックアウト・ディスクッター・昔遊びを行いました。PTAの皆様、先生方、地域の方々、さらに部活動の生徒にも手伝ってもらい競技を行います。競技後には、お楽しみの昼食を振舞っています。今年もカレーを作って参加者へ振舞いましたが、台風被害等による野菜高騰で心配されたカレーも、いつも通りおいしく出来てみんなで舌鼓をうちました。

南中では、昼食後に閉会式を行います。競技成績発表と表彰で優勝者から「今の一言」をもらった後に、サプライズとして、数年前から取り入れた東中伝統の「校長ジャンケン」を南中バージョンで行います。唯一の全員参加競技？ 大いに盛り上がりフェスティバルの幕を閉じました。

#### 平成31年度(令和元年11月30日開催)

#### ジャンケン強すぎ押田校長！

「おはようございます！何かお手伝いすることはありませんか？」生徒さん達の元気な声が飛び交う南中フェスティバルは生徒と役員がワンチームとなって、準備から共に作り上げる伝統があります。みんなのために良いものは取り入れていく柔軟性これも南中らし



さの一つです。東中伝統の校長ジャンケンを数年前から取入れ、今回は小学生、中学生に加え、大人の役員の部を行い、普段のうっぷんを晴らす(?)大盛り上がり、そんな空気はどこ吹く風と押田校長は決戦を2度も制してしまいました。体育館ではガラススタイルコースター作りに80人も参加、バレーボールに似たニュースポーツのインディアカは7チームで熱戦を展開し、「意外と難しい」の声も出ましたが、笑顔に溢れていました。

グラウンドでは、昔遊び、スリッパ飛ばし等の人気高い定番ブースを開設したことで、中学生130名小学生46名が、賑やかに参加していました。お楽しみの昼食は今年も大鍋カレーを作って参加者へ振舞いました。これはPTAさんが食材を丹念にカットし、先生方が丁寧に煮込んで完成させ、役員皆で連携して配膳する絶妙なホットラインです。味は参加者、木島教育長も絶賛の大好評でした。天候にも恵まれ、地域の方々に見守られながら、理想的な形で幕を閉じ、心から感謝致します。



#### 4. その他の活動

東原コミュニティセンターの「コミセン祭り」や東地区文化センターの夏季イベント「サマーアイランド」に実行委員として「ゲーム」、「スイカ割り」に参加。

南中青少年健全育成連絡協議会に参加、龍蔵神社、栗原神社の祭礼日にパトロール実施。

#### 5. 2年間を振り返っての感想

萩原：まとめ誌の原稿依頼！さあ何を書こう。いっぱいあり過ぎてね。ええ～それって記憶が薄れたのではないの？と言われそうだね。今年の新年会で我学区のメンバーの抱負を、四文字熟語にして皆さんに披露しました。〔学〕〔忍耐〕〔一念安泰〕〔腹9分目〕〔笑〕、私の大好きな仲間、この通りに進みましょう。残念ながら仲間二人が退任してしまいます。本当に「ご苦労」と心より感謝ですが、胸中は寂しさでいっぱいです。お姉さんはもう少し子供たちと楽しむね。応援しててね。

大沼：PTAとして14年、指導員として10年、両親が元気だったお陰で好きなことをさせてもらいました。これからは自分ができることを後悔ないようにしていきたいと思います。これまでの全ての出会いに感謝です。本当に幸せで、そしてとても贅沢な時間をありがとうございました。

大矢：自分ができる範囲で少しずつ行こうと思った指導員活動の2年間、さらにもう1期と重ねてきました。はたして青少年のために何ができたか？答えが見つからない中、皆さんに助けられ支えられ、活動を通して「何かしらできている」と自問自答しています。指導員活動を通して各学校区の皆さんとより一層の交流を持つことができた2年間でした。

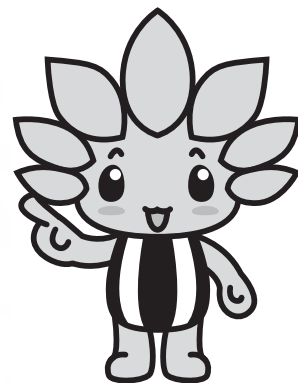
鈴木：暖かい目で見守ってくれた萩原姉さん、的確なアドバイスをくれた大矢兄さん、詳細メモで丁寧に連絡くれた大沼さん、指導員へ強引に？誘ってくれた牧さん、いつも気配りしてくれた桑ちゃん、10年間本当にありがとうございました。ニューフェイス谷さん、最高の南中で息の長い活躍を期待しております。座間市指導員のご健勝とご多幸を祈り、私も指導員の誇りを保ち更に挑戦して参ります。私は引退しますが指導員は永遠に不滅です！

牧：地域のために役に立つなら。と引き受けた青少年指導員。今では自己満足のためなのか...自己実現のためなのか...よくわからないけどもう少し頑張りたい。と思っています。また2年頑張ります。よろしくお願いします。

桑畑：青少年指導員の活動を通して、学校、地域の方々との交流の機会があり、自分自身に大変プラスになりました。また、小中学校の入卒業式、運動会などの行事にも出席させて頂き、児童、生徒達の成長を感じることが出来て良かったです。今後も指導員の行事を通じて、生徒たちと積極的に触れ合っていきたいと思っています。2年間ありがとうございました。

谷：青少年指導員に限らず、PTA役員などの活動は、1年を通して、平日・休日・昼・夜と多々あります。常勤の現役世代にとっては、なかなか参加が難しい。というのが、まず感想です。現実問題として役に立てておらず、肩身が狭いですが、できることから、楽しみながら、やっていければと思います。皆様、どうぞよろしくお願いします。

山田：2年間青少年指導員として活動させていただき、ありがとうございました。この2年間、祭礼パトロールや青少年フェスティバルなどを通して、学校は多くの人に支えられていることを改めて実感することができました。今後も地域の方々とともに、子どもたちの成長を見守っていければと思います。



## 全 体 活 動 報 告

- (1) ふるさとまつり
- (2) 座間市成人式
- (3) 青少年芸術祭  
(青少年美術展)
- (4) 専門部活動
  - ① 野外部研修会
  - ② 文化部研修会
  - ③ きずな編集部

## (1) ふるさとまつり（令和元年11月17日(日)開催）

令和元年11月17日（日）寒空の下、「夢溢れる 輝く未来 ZAMA！」をテーマに第33回座間市民ふるさとまつりが開催されました。ふれあい広場に設けられた青少年指導員のブースの場所は、例年と異なり「寒いね」「陽が当たらないね」という声がチラホラ…。日陰で小さく震えながらスタートしたふるさとまつりでしたが、さすがは座間市青少年指導員です。まつり開始前には、キュッキュッキュ！と音を鳴らしながら、手際良くバルーンアートを作り上げます。飾り気のないブースが、あっという間に華やかなテントに大変身！準備も整い、来場者を受け入れる体制は整いました。今回は、「釣りゲーム」「スマートボール」「バルーンアート」を実施。釣りゲームは、発泡トレイに絵を描いたものを釣り上げるゲームですが、釣り堀や釣り竿にも様々な工夫がされています。背丈の低い子どもが釣りやすいように、釣り堀としているビニールプールの空気を抜き、高さを低くしました。そして、長い釣り竿で子どもがケガをしないようにと安全性を重視し、釣り竿を短く調整しました。青少年指導員の思いやりが沢山込められたふるさとまつり。ゲームを楽しんでいる子どもたちの笑顔が、青少年指導員のやる気を再燃させてくれます。今回のふるさとまつりもお客さんが途切れることなく、大盛況のうちに終わりました。



## (2)座間市成人式

### ○平成30年度（平成31年1月14日開催）

平成31年1月14日（月）の成人の日、ハーモニーホール座間大ホールを会場に成人式が開催されました。市内新成人対象者は1,325人で、式典当日は902人（男子488人、女子414人）が式典に出席しました。

### ○令和元年度（令和2年1月13日開催）

令和2年1月13日（月）に開催された成人式では、市内新成人対象者1,412人中、933人（男子483人、女子450人）が参加し、厳粛な雰囲気の中行われました。青少年指導員は、当日、受付及び会場整理、接待等に従事しました。会場ロビーにはスーツやかま姿・晴れ着姿の新成人たちが集まり、笑顔が満ち溢れていました。式典を始めるにあたり、自然災害や不慮の事故等に因り、式典を迎えられなかった多くの方に向けた黙とうが行われました。会場の新成人たちも静粛に受け止めて新たな誓いをそれぞれの胸に刻んだことと思います。





### (3)青少年芸術祭

#### ○平成30年度

第39回「青少年芸術祭」は、人形・音楽・舞踊・展示の四つの部門で構成され、毎年多くの青少年の参加を得ています。

展示部門（青少年美術展）は2月23日（土）・24日（日）に開催しました。小学生、中学生、高校生、一般と多くの青少年から様々なジャンルの作品を出品されました。青少年指導員は、学校への出品依頼、作品搬入、作品整理、審査協力、前日準備、当日の受付や会場の見巡り等を行いました。



審査は、元三軌会会員の吉野光治先生、日本写真協会会員の高橋ぎいち先生に奨励賞を選出頂きました。力作が多く、先生方もだいぶ悩まれていました。4賞の選考は、指導員も参加し、市長賞には、入谷小学校6年生の石井光星さん、議長賞には、相模向陽館高等学校1年生の藤原優香さん、教育長賞には、座間総合高等学校の高山風香さん、審査員特別賞には、東中学校の白石大航さんが選出されました。

#### ○令和元年度

令和元年度の青少年芸術祭は、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、人形劇部門以外の展示部門（青少年美術展）及び音楽部門、舞踊部門は中止となりました。

展示部門（青少年美術展）の作品は、市内在住・在学（在勤）の青少年を始め、小学校・中学校・高等学校・座間養護学校の664人の青少年から679点の作品が出展され、その中から奨励賞を選出するための審査を行いました。市長賞には、栗原中学校3年生の栗林由花さん、議長賞には、座間総合高等学校2年生の内藤幸樹さん、教育長賞には、東中学校1年生の大山玲花さん、審査員特別賞には、中原小学校1年生の福田うみさんが選出されました。





## (4)専門部活動

### ①野外部研修会

#### ○平成30年度（平成30年7月8日(日)開催）

平成30年度の野外部研修会では、平成30年2月に完成した新消防庁舎にて行いました。研修は、有山氏（市消防職員及び青少年指導員野外部部長）及び吉川氏（市消防職員及び青少年指導員）を講師とし、新庁舎建設に向けた計画から完成までの説明を受け、新庁舎内見学やはしご車搭乗体験、煙体験を行い、三角巾を使用した応急手当の方法を学びました。



#### ○令和元年度（令和元年6月29日(土)開催）

令和元年度の野外研修会では、前年度に実施した野外部研修会のプラスアルファとして、子どもたちの命を守る知識とスキルの習得を目的に、普通救命講習を受講することとなりました。研修は、前年度同様、市消防職員兼青少年指導員である2名を講師とし、座学として、心肺蘇生法の重要性や救急車が来るまでにできる事等を学び、「心肺蘇生法とAEDの取り扱い」として、1名ずつ行う効果測定（実技）を受けました。今回の研修受講の結果、参加した青少年指導員全員が普通救命講習修了証の交付を受けることができました。



### ②文化部研修会

#### ○平成30年度（平成30年9月8日(土)開催）

平成30年度の文化部研修では、市教育研究所職員 浅野氏を講師として、「座間市内中学校の成り立ちについて」をテーマに、市内中学校の設立に至った経緯や各中学校の校歌の内容等を学び、市役所7階展望室から市内を見下ろしながら市内の歴史的变化に係る説明を受けました。本研修を通じ、青少年指導員として、座間市の教育に対するこれまでの取り組みや、学校が建てられるまでに至った経緯、地形と学校設計との関係性等を学ぶことができました。

#### ○令和元年度（令和元8月31日(土)開催）

令和元年度の文化部研修では、今後の青少年指導員活動を行うにあたり、活きた知識を習得するため、神奈川県総合防災センターを中心に視察研修を行いました。上記総合防災センターでは、地震体験（震度7）コーナーでの疑似体験、風水害コーナーでは、最大風速30km/時の暴風体験、消火体験コーナーでは、消火剤の代わりに水が入った消火器での初期消火体験、煙体験では、煙が立ち込



める迷路から避難する体験をし、防災シアターでは、今後、県民が直面するであろう自然災害を仮想したストーリーを視聴し、自然災害の危険性やいざというときの備え、「自助・公助・共助」が大切だということを改めて学んだ研修でした。

次に訪れた場所は、県立「花菜ガーデン」です。花菜ガーデンでは、アロマオイルを使用した石けん作りをしました。指導者の講習を受けた後、石けん作りに取り掛かりました。石けん作りをしている青少年指導員の姿は、まさに童心に帰ったかのようでした。無邪気な笑顔を浮かべながら作られた石けんは、様々な形となって完成しました。



### ③野外・文化合同研修（座間市・大和市二市合同研修）

#### ○平成30年度（平成31年2月16日開催）

平成30年度は、昨年につき、座間市・大和市合同研修を座間市青少年センターにて開催しました。研修会は、県立精神医療センター精神科認定看護師である本市青少年指導員の中谷氏を講師とし、「心の病の対象理解～思春期の出すサインを受け取るには～」をテーマに、講義を受け、中学生と関わる事の多い青少年指導員として、必要な知識を習得しました。講義終了後は、大和市青少年指導員 岡松氏を講師として、バルーンアートの実技講習を受けました。難易度が高い「ざまりん」のバルーンアートの作り方を習得した青少年指導員は、青少年フェスティバルで、ざまりんバルーンを作成し、子どもたちに提供する等して青少年指導員の活動に活かしています。そして、本研修で作成したバルーンアートは、平成30年度の青少年美術展で活用されました。





## ○令和元年度（令和2年2月22日（土）開催）

令和元年度の合同研修は、大和市保健福祉センターにて開催しました。研修は、午前にも両市活動発表会及びバルーンアート講習会を実施、午後には、工作講習会を実施しました。

両市活動発表会では、大和市から、青少年指導員一丸となって取り組む事業（主に、ナイトウォークラリー・青少年センターまつり・大和市民まつり）や4つの専門部会（事業部、広報部、団体育成部、研修部）活動、12地区での各活動について発表頂きました。座間市からは、平成30年度に県青少年指導員大会で発表した内容を元に、南中学区青少年指導員 鈴木氏及び西中学区青少年指導員 角田氏がユーモアたっぷりに発表をし、発表の最後には、マイクを握った萩原会長先導の元、全員で東京スカイツリー音頭（替え歌）を歌いました。



バルーンアート講習会では、大和市青少年指導員 岡松氏が中心となり、初級コースと上級コースに分かれて、犬やかぼちゃ、花、剣等を作りました。



午後に行った工作講習会では、大和市青少年指導員が講師となり、平面キューブや紙パックとんぼ、風船電話、紙コップロケット等の作り方を受講しました。

本研修では、大和市青少年指導員との交流だけでなく、市内の学区が異なる青少年指導員同士の交流もできました。そして、両市の活動の違いから学ぶことや、活動の違いがあっても子どもたちに向ける熱心な気持ちは同じであるということに気付くことができた有意義な研修となりました。



#### ④「きずな」編集部

編集部の活動は広報誌「きずな」の発行（初年度2回、次年度1回）と、期末に青少年課で編集・発行される本誌の「各地区協議会活動報告」の原稿作成等です。今期は「きずな第57号・58号・59号」を発行しました。

平成30年10月発行の「きずな第57号」は、1面で「青少年指導員で知ってる？」と題した青少年指導員活動の紹介、2・3面では「各地区協議会から」と題して、各学区の活動報告、5面では「新消防庁舎の見学と救急講習」と題した野外部研修会の実施報告、6面で第26期青少年指導員を写真入りで紹介しました。

平成31年4月発行の「きずな第58号」は、1・2・3面で「市内6中学校生徒会長紹介」と題して、平成最後・令和最初の生徒会長6人に「生徒会長になりたいと思った理由は？」や「学校の自慢できるところは？」等、7つの質問を行いました。4面では、青少年指導員の活動報告等について掲載しました。

令和2年3月発行の「きずな第59号」は、「第40回青少年芸術祭 青少年美術展へGO!!」と題し、青少年美術展作品審査の様子や特別賞4賞の紹介、2・3面では「各地区協議会から」と題して、各学区の青少年フェスティバル実施報告、4面では「座間市・大和市合同研修会のあゆみ」と題して、平成27年度から開始した合同研修会の紹介について掲載しました。



## 参 考 資 料

- 平成30・令和元年度座間市青少年指導員名簿
- 神奈川県青少年指導員委嘱要領
- 座間市青少年指導員に関する規則
- 座間市青少年指導員協議会規約・組織
- 県・県央地域青少年指導員連絡協議会体系図
- 教育・文化・スポーツ施設一覧



## 平成30・令和元年度 座間市青少年指導員名簿

(任期:平成30年4月1日から令和2年3月31日)

地区	No.	氏名	役職	専門部	地区	No.	氏名	役職	専門部
座間中学校区	1	有山 博幸	野外部長	野外	栗原中学校区	1	大澤 道夫		野外
	2	清水 京子		文化		2	寺田 栄枝	事務局長	きずな
	3	栄 淑		きずな		3	有村 理恵	地区幹事	文化
	4	中村 篤人		野外		4	深谷 光子		文化
	5	山本 千種	地区幹事・会計	文化		5	平野 敦子		きずな
	6	三ツ橋 栄司		野外		6	松崎 浩司		野外
	7	人見 智子		文化		7	池谷 久三子		きずな
	8	佐久間 頼夫		きずな		8	藤本 健		野外
	9	増尾 翼		野外					
西中学校区	1	角田 紀和	副会長	文化	相模中学校区	1	下山 敏彦		野外
	2	小林 慶子	文化部長	文化		2	藏本 洋子		文化
	3	鈴木 陽子		文化		3	吉澤 雅規	きずな部長	きずな
	4	明石 さゆり		きずな		4	東谷 美樹	地区幹事	文化
	5	吉川 正剛		野外		5	高橋 由美子		文化
	6	松本 康裕	地区幹事・監査	野外		6	石田 信一		野外
	7	山城 千穂		きずな		7	板羽 沙織		文化
	8	中島 みずほ	H30.5.1委嘱	文化					
	9	小畑 恭平		野外					
東中学校区	1	山田 映子	地区幹事・監査	文化	南中学校区	1	萩原 正恵	会長	野外
	2	佐藤 和夫	副会長	野外		2	大矢 弘		きずな
	3	中川 正親		きずな		3	牧 篤美		野外
	4	中野 笑美子		文化		4	大沼 美千子	地区幹事	文化
	5	佐藤 伸之		野外		5	鈴木 一寿		文化
	6	吉田 奈々子	H30.5.1委嘱	文化		6	桑畑 武		文化
	7	要田 真		野外		7	中谷 将	H30.6.1~H31.3.31	きずな
						8	谷 芳生	R1.7.1委嘱	野外
				9		山田 一仁		野外	

## 神奈川県青少年指導員委嘱要領

### 1 目的

この要領は、知事が神奈川県青少年保護育成条例（以下「条例」という。）第43条第1項の規定に基づき委嘱する青少年指導員（以下「指導員」という。）の委嘱等について必要な事項を定める。

### 2 指導員の推薦

- (1) 市町村長又は市町村教育委員会教育長（以下「市町村長等」という。）は、青少年に対し深い理解と愛情を持って健全な育成に努めている人を、指導員として知事に推薦するものとする。
- (2) 指導員の推薦に係る様式その他必要な事項は別に定める。

### 3 指導員の委嘱

- (1) 知事による指導員の委嘱は、委嘱状を交付して行う。
- (2) 指導員の委嘱に係る様式その他必要な事項は別に定める。

### 4 指導員の活動

指導員は、条例第43条第2項の規定に基づき、市町村や県と連携して、地域の特性に応じた青少年の健全育成に資する活動を行う。

### 5 指導員の任期

指導員の任期は、隔年の4月1日から翌々年の3月31日までの2年間とする。ただし、後任者の任期は、前任者の残任期間とする。また、当該2年間の途中で委嘱した場合の任期は、委嘱の日から当該2年間の終期までとする。

### 6 指導員の委嘱の取消し

- (1) 任期中において、次の各項に該当するときには、指導員の委嘱を取り消すことができる。
  - ア 市町村長等から交替又は解任の申出があった場合
  - イ 指導員としてふさわしくない非行等があった場合
- (2) 指導員の委嘱の取消しに係る様式その他必要な事項は別に定める。

### 7 協議会

指導員活動の効果的推進及び指導員相互の連携を図るため、神奈川県青少年指導員連絡協議会を置く。

#### 附 則

- 1 この要領は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 この要領の施行の際現に指導員として委嘱されている者は、この要領の規定にかかわらず指導員とし、その任期の終期は平成24年3月31日とする。

【参考】神奈川県青少年指導員保護育成条例（平成22年10月22日改正 平成23年4月1日施行）  
（青少年指導員等）

#### 第43条

知事は、市町村長又は市町村の教育委員会が推薦する者を、青少年指導員として委嘱することができる。

- 2 青少年指導員及び青少年関係団体の構成員であつて規則で定める者（以下「青少年指導員等」という。）は、他の関係者等と連携し、及び協力して、地域における活動への青少年の参加の促進その他の青少年の健全な育成に資する取組を行うものとする。

## 座間市青少年指導員に関する規則

(目的)

第1条 この規則は、地域における青少年の自発的活動及び愛護活動を推進するために座間市青少年指導員（以下「指導員」という。）を置き、青少年の健全育成を図ることを目的とする。

(職務)

第2条 指導員は、地域における青少年（おおむね小学校就学時から20歳までの者をいう。）の育成及び愛護活動並びに青少年施設等の活用を図るものとし、次に掲げる職務を行う。

- (1) 青少年団体の指導育成及び組織化
- (2) 文化及びレクリエーション活動の推進
- (3) 青少年育成組織の強化と地域活動の推進
- (4) 環境の整備及び浄化活動
- (5) 青少年に関する相談と愛護活動

(定数等)

第3条 指導員の定数は、50人以内とする。

2 指導員は、教育長が次に掲げる団体等のうちから、青少年に対し深い理解と愛情をもって健全な育成に努力している者を推薦し、市長が委嘱する。

- (1) 自治会
- (2) 子ども会育成会
- (3) 小学校・中学校のPTA
- (4) その他適当と思われる機関及び団体

(任期)

第4条 指導員の任期は、2年以内とする。ただし、再任を妨げない。

2 補欠指導員の任期は、前任者の残任期間とする。

(実施細目)

第5条 この規則に定めるもののほか必要な事項は、市長が別に定める。

### 附 則

1 この規則は、平成28年4月1日から施行する。

2 この規則の施行前に座間市青少年指導員に関する規則（昭和55年座間市教育委員会規則第1号。以下「旧教育委員会規則」という。）第6条の規定により委嘱をされている者は、この規則の施行の日に、この規則第3条第2項の規定により委嘱をされた指導員とみなす。この場合において、その委嘱をされたものとみなされる者の任期は、第4条第1項の規定にかかわらず、この規則の施行の日における旧教育委員会規則第5条第1項の規定による青少年指導員としての任期の残任期間と同一の期間とする。

附 則（平成31年3月28日規則第16号）

1 この規則は、平成31年4月1日から施行する。

2 この規則の施行の際現にこの規則による改正前の座間市青少年指導員に関する規則第3条第2項の規定により委嘱された青少年指導員の任期は、この規則による改正後の座間市青少年指導員規則第4条第1項の規定にかかわらず、なお従前の例による。

## 座間市青少年指導員協議会規約

(名称及び事務局)

第1条 本協議会は、座間市青少年指導員協議会と称し、事務局を座間市子ども未来部青少年課に置く。

(目的)

第2条 本協議会は、青少年指導員の連絡提携により指導力の充実を図り、地域における青少年健全育成活動を主体的に推進することを目的とする。

(構成)

第3条 本協議会は、座間市青少年指導員（以下「指導員」という。）をもって構成する。

(活動)

第4条 本協議会は、第2条の目的を達成するため次の活動を行う。

- (1) 青少年健全育成活動の実施
- (2) 青少年指導に必要な研修会の開催
- (3) 指導員相互の連絡及び情報交換
- (4) 関係機関並びに諸団体との連絡調整
- (5) その他目的達成に必要な活動

(役員)

第5条 本協議会に次の役員を置き、その任期は指導員の任期中とする。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 2名
- (3) 地区幹事 6名
- (4) 専門部長 3名
- (5) 事務局長 1名
- (6) 会計 1名

2 上記役員の外に、監査2名を置く。

(役員の仕事)

第6条 役員の仕事は次のとおりとする。

- (1) 会長は、協議会を代表し、会務を統括する。
- (2) 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その仕事を代理する。
- (3) 地区幹事は、地区を代表し、会務について審議する。
- (4) 専門部長は、専門部を代表し、会務について審議する。
- (5) 事務局長は、協議会の総括業務を行う。
- (6) 会計は、この会の会計を掌握する。
- (7) 監査は、この会の会計を監査する。

(役員を選出)

第7条 本協議会会長、副会長並びに専門部長については、選考委員会が全員の中から推薦し、全体会で選出する。

- 2 地区幹事は、各中学校区（以下「各地区」という。）の指導員の互選による。
- 3 事務局長は、会長が指名する。
- 4 地区幹事が、会長、副会長、専門部長又は事務局長として選出された場合は、すみやかに後任の地区幹事を補充するものとする。
- 5 会計は、指導員の互選による。
- 6 監査は、役員会の推薦による。

(選考委員会)

第8条 本協議会に、役員選出のため選考委員会を置く。

- 2 選考委員会の委員は、各地区の指導員の互選とし、各地区ごとに1名選出する。

(協議会の会議)

第9条 本協議会の会議は、全体会、役員会及び三役会とし、会長が召集する。

- 2 本協議会の会議の構成員は次のとおりとする。
  - (1) 全体会 指導員全員
  - (2) 役員会 第5条第1項に定める役員
  - (3) 三役会 会長、副会長、事務局長

(専門部)

第10条 本協議会の活動を推進するため専門部を置き、指導員はそれぞれ、いずれかの専門部に属するものとする。

- 2 専門部は、文化活動部、野外活動部及びきずな編集部とする。
- 3 専門部の会議は、専門部長が召集し、専門部で必要な事項を定める。

(地区協議会)

第11条 本協議会の活動を円滑に推進するため、各地区ごとに地区協議会を置く。

- 2 地区協議会の会議は、地区幹事が召集し、地区協議会で必要な事項を定める。

(規約の改廃)

第12条 この規約の改廃は、全体会において行う。

(会計)

第13条 本協議会の経費は、委託金、その他の収入をもって充てる。

- 2 本協議会の会計年度は、4月1日から翌年3月31日までとする。

(その他)

第14条 この規約に定めるもののほか、本協議会の運営に必要な事項は、役員会が決定する。

附 則

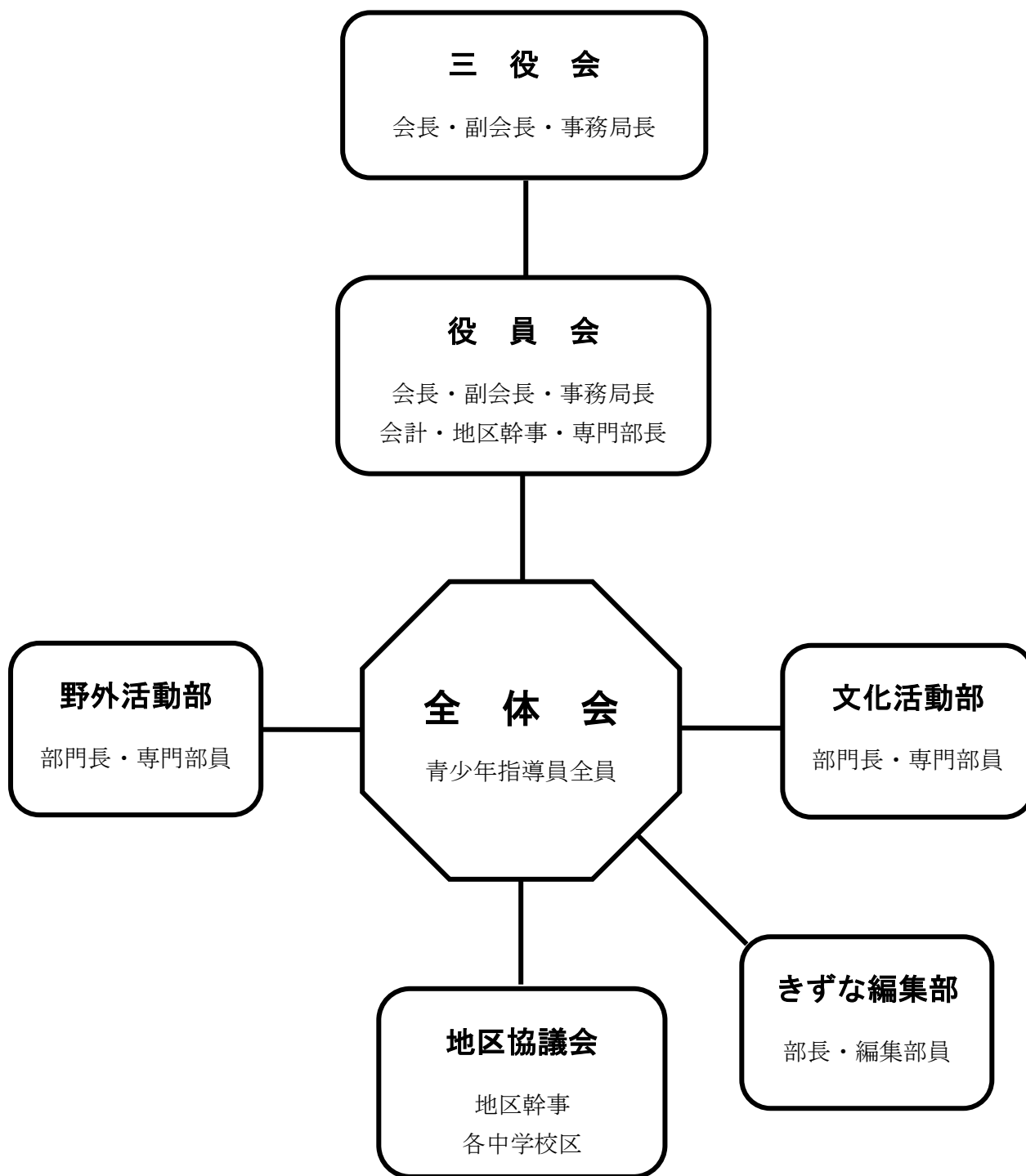
この規約は、平成5年4月1日から施行する。

この規約は、平成16年4月1日から施行する。

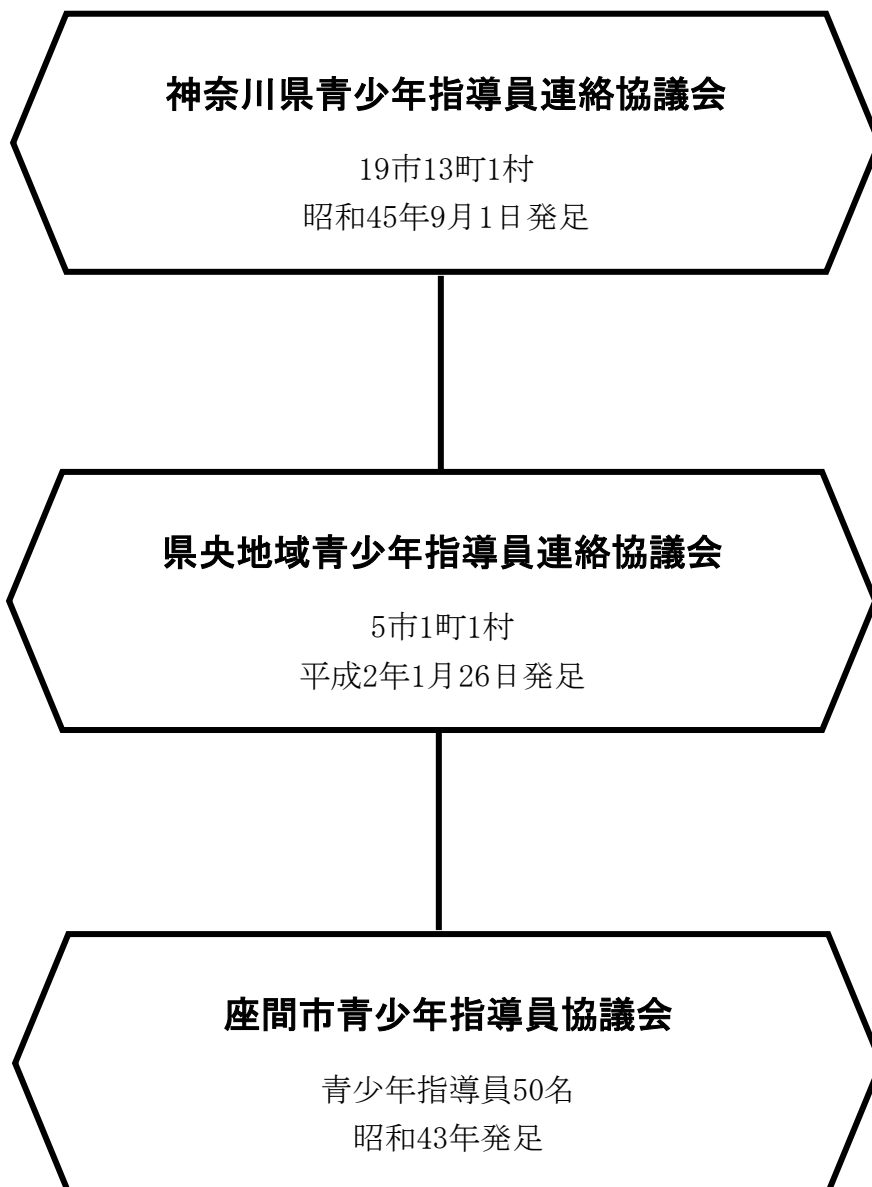
この規約は、平成28年4月1日から施行する。



## 青少年指導員協議会組織図



## 県・県央地区青少年指導員連絡協議会体系図



## 教育・文化・スポーツ施設一覧

### ★教育・文化施設

施設名	住所	電話番号
青少年センター	立野台 1-1-4	046(253)8411
ハーモニーホール座間（市民文化会館）	緑ヶ丘 1-1-2	046(255)1100
図書館	入谷東 1-3-1	046(255)1211
市公民館	入谷西 2-53-34	046(255)3131
北地区文化センター	相模が丘 5-30-4	042(747)3361
東地区文化センター	東原 3-1-1	046(253)0781
座間市民活動サポートセンター	緑ヶ丘 1-1-1（ふれあい会館内）	046(255)0201
立野台コミュニティセンター	立野台 3-14-12	046(255)0815
新田宿・四ツ谷コミュニティセンター	四ツ谷 1026	046(257)4871
小松原コミュニティセンター	小松原 1-45-14	046(257)9640
東原コミュニティセンター	東原 4-13-13	046(255)9770
相模が丘コミュニティセンター	相模が丘 3-38-1	046(258)3000
相武台コミュニティセンター	相武台 3-20-18	046(258)3001
ひばりが丘コミュニティセンター	ひばりが丘 1-49-1	046(257)7698
栗原コミュニティセンター	栗原中央 3-29-17	046(257)7210
プラっとぎま（市民交流プラザ）	相模が丘 1-25-1 リビオタワー小田 急相模原 commons ぎま 3階	042(705)3610
県立座間谷戸山公園	入谷東 1-6-1	046(257)8388

★スポーツ施設

施設名	住所	電話番号
スカイアリーナ座間（市民体育館）	相武台 1-47-1	046(255)0077
市民球場（有料）	相模が丘 6-36-24	046(255)3002
新田宿グラウンド（有料）	新田宿 2178	046(252)2333
相模川グラウンド（無料）	相模川座架依橋上流	
相模川多目的広場（無料）	相模川座架依橋上流	
栗原遊水池スポーツ広場（無料）	栗原 1702-3	
ニュースポーツ多目的広場（無料）	四ツ谷 1044-1	
ひまわり公園テニスコート（有料）	入谷東 1-6-3	046(256)1385
栗原遊水地テニスコート（無料）	栗原 1702-3	046(256)7021
座架依橋壁打ちテニス練習場（無料）	座間 1540（座架依橋下）	
栗原遊水地バスケットゴール（無料）	栗原 1702-3	046(256)7021
立野台プール	立野台 1-1-2	046(251)5672
座間公園プール	座間 1-3671	046(251)6678
広野プール	広野台 1-37-1	046(252)0077
東原プール	東原 3-3-14	046(251)5044
ひばりが丘プール	ひばりが丘 4-4-3	046(255)5087
相武台プール	相武台 4-2-13	046(255)5086
栗原プール	栗原中央 6-5-25	046(254)5351
相模が丘プール	相模が丘 2-1-9	046(256)2285
入谷プール	入谷西 5-43-1	046(256)2325
旭プール	ひばりが丘 5-28-5	046(256)5508
中原プール	西栗原 2-14-1	046(251)6027

## あ と が き

- [吉澤] きずな編集部部長として3期（6年）今期もなんとか無事に終えられそうです。今期の特筆事項は「きずな58号」で市内6中学校区の令和元年度初代生徒会長にスポットを当てたことです。彼らが日々何を思い学校生活を送っているのかを、編集部で作成した7つの質問で探りました。回答からは彼らの“学校をよりよくしたい！”という熱い思いが伝わり、生徒たちの先頭に立ち牽引していこうという子は気構えが違ふと感動しました。当初は未成年の実名・写真入り記事に難色を示した学校もありましたが、最終的に理解していただき全校揃って掲載できました。しかし、個人情報の扱いについてはいろいろ考えさせられました。ただ“石橋を叩きすぎて壊し道がなくなる”ことも避けたいとも思いました。最後に、編集部の皆さんお疲れさまでした。毎回フルメンバーだった編集会議は、皆さんのおかげで本当に楽しくできました。
- [栄] 気が付けば2期目（4年間）のきずな担当でした。特に、今期はあつという間の2年間でした。間違い探しが苦手な私、校正の作業では、皆さんの指摘に感心するばかり。こんな私でも編集部の一員でいられ、無事にきずなを発行できたのは、まさしく部長をはじめとする編集部の皆さんのお陰です。来期はまだどうなるかわかりませんが、部長、皆さんの御苦勞を考えると、今後もしっかりときずなとまとめ誌に目を通したいと思います。
- [明石] きずなの担当を4年間やらせて頂きました。前期のまとめ誌では、西中学校区の青少年フェスティバルがインフルエンザで中止になったことで、書く内容に頭を悩ませ困りましたが、今期は部活動体験という新しい試みがとても好評で、書きたいことが多すぎて逆の意味で困ってしまうという嬉しい結果となりました。4年間、編集部部長さんや編集部員の皆さんに支えられながら、楽しくやってこれたことに感謝しております。
- [中川] 後世に残す資料作成なので自分に出来るのか？不安を感じて歩んできましたが、ありのままで良い事に気が付き、色々な活動にもぼーっとして参加することなく、手帳を記入して反省！きずな編集部員として2年間あつという間に過ぎました。
- [平野] きずな編集に携わる事で、各中学校区の熱心な編集会議に参加し、感動するばかりでした。とても貴重な体験をさせて頂きました。編集部の皆さん本当にありがとうございました。
- [池谷] 頼りになる編集部部長と経験豊かな先輩部員さんとの編集会議は、色々な意見や案が飛び出し、とても勉強になりました。2年間ありがとうございました。



[大矢] 初めてのきずな編集部員として2年が経ちましたが、どのような記事を載せ、どう編集するか難しいことがよくわかりました。指導員の活動をいかに周知するか、活動内容の掲載・編集が大変でした（特に部長が！）。普段、話しをしない各地区協の部員の皆さんとも2年間一緒に何とかできたことに感謝します。ありがとうございました。

☆☆☆

☆☆☆

☆☆☆

☆☆☆

☆☆☆

編集委員長 吉澤雅規

編集委員 栄淑 明石さゆり 中川正親 平野敦子 池谷久三子 大矢弘

平成30・令和元年度（第26期）  
座間市青少年指導員活動のあゆみ

発行日 令和2年3月31日  
発行 座間市  
編集 座間市青少年指導員協議会  
印刷 座間市役所印刷室